NOVEMBER 20, 1920. NO. 7553

The Japanese American News

大正九年十一月二十日 (土) 第七千五百五十三號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET,
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA.
PHONE PROSPECT 838
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER.
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS
BRANCHES
DENVER, FRESNO, LOS ANGELES, NEW YORK, OAKLAND, OGDEN, PORTLAND, SACRAMENTO, STOCKTON, SAN JOSE, SALT LAKE, SEATTLE, VACAVILLE, WATSONVILLE.

日米

移民制限 互譲的解決

経済界の不況、事業界の不振、前途如何になり行くや豫想困難にして、然かも其性質繊細を帯び居る以上、外國移民に對し峻烈なる制限を行ふことになるべきは何人も豫期せざる可からざる處なり。峻烈なる制限とは事實如何なるものなりや未だ決し居らざるも、今後數年を限り、日本人に關しては既に右と同樣の禁止政策實行せられ居れば、之によりて新たに何等の打撃を蒙ることは無かるべし。但し今回の新條約によるか、又は紳士協約の改締乃至追加により、現在よりも更に嚴重なる制限を受くる事になるべし。何となれば米國内に獨立の事業を經營し居る國等を嚴重に取締る爲めに嚴重なる方法を講ずる事を望む。

日米

移民制限は定住者の家族呼寄せ又は同伴歸米等なるが、此等は在米日本人をして滿足なる家庭生活を爲さしむる爲の是非とも必要なる事なれば、之も亦斷じて讓歩するを得ざる項目なり。

プロフェッショナル階級の入國自由は改めて述ぶるまでも無く一般外國人と平等ならざる可からず。吾人は此等以外に於ての緊縮は大體に於て已むを得ずと考ふるものなるが、最後の問題は移民制限の權利を、從來の如く一日本の手に保留するか、或は此等以外に於ての條約に移すかの形式論なり。體面問題より論ずれば無論日本の手に保留せざる可からざれば、能ふ限らば自制權を放さざるべし。

移民の暗殺及び、生活の本據を米國内に有せる再渡航者及び其家族を除ける一切の新來移民を嚴禁する事になるべし。此移民制限法は歐洲移民に適用せられ歐洲移民絶對禁止をいふ事に同じ規定を作らば作り得る狀態なり。然かも此場合在米日本人として飽くまで主張せざる可からざるは、生活の根據を米國内に有せるものゝ再渡航は、少なくとも現狀維持なるべき可からざる事なり。何となれば米國内に獨立の事業を經營し居るものは勿論、假令勞働し居るものゝ如きも、一時歸朝を旅行と解釋せざる可からずして、旅に出で去るものは歸り來るを當然とし、歸ることを拒絶するといふは絶對に無き筈なれども、同時に特殊入國者と雖も、特殊入國といふ事實は既に過去に起たる事實にして、何時までも夫れを追躡するに及ばず、斯くの如き切り代への時期を以て、万事時を直しを爲し、古き事を咎めず、現在米國内に居住せるものを在米日本人と爲し、今後の來入國者を在米日本人と爲し、今後の入國者の待遇を爲し、今後の密入國等を嚴重に取締る爲めに嚴重なる方法を講ずる事を望む。

吾人は此等以外に於ての緊縮は大體に於て已むを得ずと考ふるものなるが、最後の問題は移民制限の權利を、從來の如く一日本の手に保留するか、或は此等以外に於ての條約に移すかの形式論なり。體面問題より論ずれば無論日本の手に保留せざる可からざれば、能ふ限らば自制權を放さざるべし。

米國内に有せる再渡航者及び其家族を除ける一切の新來移民を嚴禁する事になるべし。此移民制限法は歐洲移民に適用せられ歐洲移民絶對禁止をいふ事に同じ規定を作らば作り得る狀態なり。然かも此場合在米日本人として飽くまで主張せざる可からざるは、生活の根據を米國内に有せるものゝ再渡航は、移民の暗殺及び、生活の本據を

加州排日一般投票法案は何故に通過したる乎

▲如何にして通過したるか＝今後▲如何になり行くかに對する私見 (承)

一般投票の排日土地法案は新して案として成立し、全加州民の前に提出され賛否を問はる事になつた。前にも述べたやうに現下の加州では如何に暴戻苛酷な案でも苟くも排日と名のつく案でも排日の目的は全加州民の一致せる感情であるから主張であるから、此點から言へば誰でも賛成するのである。然るに案は移民問題とは

▲全然無關係

な在住日本人迫害案、極端な差別的待遇案である。此事實を一般加州民に知らしむる事は、年来誤解に誤解を重ねられた日本及び日本人に關する釋明同様、甚だ必要なつば詰つて如何に『運動』して見た處で燒石に水なることは明白に何故であるか

▲日米新條約

が此加州法を無効にしやうとしてゐるとか、訴訟を起そうとしてゐるとか、中央議會に移民案が出るとか等の理由もあるが、更に此外に日本人が加州の立法に干渉した、日本人が政治運動をした、不都合千萬だといふ憤激が非常なる程度で彼等を激發してゐる事を見免れがしては居られない。恐らくは次の議會でフイラン先生掉尾の大活動をして此點に尾鰭をつけて咆哮するであらう。又來春の州會でも誰か此點を指摘して他の排日諸案に惹鞭を及ぼすであらう（後羽前）

▼日本人の所有地は僅々四十五萬八千英加即ち一パーセントに過ぎず面も耕作は之れのみに止まるが日本人所有地の滑稽なる此小割前は僅々十分の一パーセント即ち二萬七千英加に過ぎず其殖高はリース取穫分配法勞働契約等の下に日本人の少數の日本人株主を有する米人會社の所有地四万八千英加をも含み居るなる事實如上の如くなれば加州今回の立法は全く正當なる日本の憤怒の基を爲せるものなり故に平和の裡に戰爭を解決する事困難なり而して最初に友情を缺如せる行動を採れるものは加州を通じて爲せる米國なり吾人は猶は正氣を以て協議するの餘地あるを思ひ

▼正義の發

現に依り唯一の道を開かん事を熱望するものなり」

▼考慮を要す

太平洋の兩岸に人種的偏見を有する曲論家あらば日米間の爭議を和局の裡に解決する事困難なり而して最初に友情を缺如せる行動を採れるものは加州を通じて爲せる米國なり吾人は猶は正氣を以て協議するの餘地あるを思ひ

▼正義の發

現に依り唯一の道を開かん事を熱望するものなり」

▼人氣取策

の爲め米國の一部の策士連が危險な苦肉策を弄して遺憾とする。此苦肉策によつて我等在住同胞は非常なる損失を將來に招くの餘義無きに至つた事を遺憾とせざるを得ない。政治季節が過ぐれば排日運動は直ちに終熄するを常とするに拘らず、十一月二日を過ぎてから却て皮肉に然かも反動的に燃烈になつて來たのは何故であるか

▲日米新條約

が此加州法を無効にしやうとしてゐるとか、訴訟を起そうとしてゐるとか、中央議會に移民案が出るとか等の理由もあるが、更に此外に日本人が加州の立法に干渉した、日本人が政治運動をした、不都合千萬だといふ憤激が非常なる程度で彼等を激發してゐる事を見免れがしては居られない。恐らくは次の議會でフイラン先生掉尾の大活動をして此點に尾鰭をつけて咆哮するであらう。又來春の州會でも誰か此點を指摘して他の排日諸案に惹鞭を及ぼすであらう（後羽前）

▼考慮を要す

太平洋の兩岸に人種的偏見を有する曲論家あらば日米間の爭議を和局の裡に解決する事困難なり而して最初に友情を缺如せる行動を採れるものは加州を通じて爲せる米國なり吾人は猶は正氣を以て協議するの餘地あるを思ひ

▼正義の發

現に依り唯一の道を開かん事を熱望するものなり」

◇日本に於ける米婦人

＝その生活は愉快で便利＝

ナンシイ・オースチン夫人

十二年間日本に暮して横濱から歸米した許りの私に對して友達が異口同音に訊くのは『彼方のお暮しはどうでしたか、お話し下さいな』といふのである私達は

◆日本政府が

＝六十年前に外國人の居住地として與へた所謂山手の太平洋に面した崖の上に住んでゐたその山手に住む人は殆ど皆外國人だからもた友達を訪ねたり敎會芝居圖書館テニス・コートなどに出るとが頗る容易である東京では三百萬近くの日本人が住んでゐる市内各所に外國人が散在してゐるので友人訪問にはアノ混雜した市街電車で長い時間を取られるだから外國人は

◆東京よりも

＝横濱の方が住み心地よく東京にが住んでゐる借家でも横濱に住んで出勤を毎日汽車か電車で通ふのである借家を探す事は米國と同じ樣に隨分困難なことで特に私共外國人は普通の日本家屋に住めないから撰擇の範圍が限られてゐる、近年までは外國式家屋の建設が極めて稀なかつたから私達が欲しいと思ふ樣な家屋の

◆空家は却々

＝見當らない日本式の家は清潔な畳と全く家具を置いてゐる見た處頗る綺麗で風雅だけれども私達の住むには不便である、實際美しいけれども椅子やベッドやテーブル其他の家具なしではやり切れぬ、仮

◆彼等は永久

＝に借地してゐる

である、習慣として大概の家は三方に常盤の垣を廻らし一方に使用人の居る處や石炭小屋やた勝手がある、私は家具や掛書をを拵ねるのに可成りの時を費した、遂に日本の指物師と相談して、日本の後食堂と居室には櫻の家具、應接間には櫻の木の家具、ベッドルームにはエナメルの物を入れる事にした、全部の細目が定つて應接間の家具を

◆融通が利き

＝親切だつた良い召使ひが多いので家庭内の待遇は頗る容易で十二人位のお客に八コースの御馳走する位の晩餐會には全く主婦の手を煩はせない花類は色々あつて安いから室内やテーブルを美しくして置くの造作もない事であつた、庭球最も權威あるゼネーション誌は最近發行（十七日）の論說欄に於て加州問題に對し左の如き

▼正論を掲

げたり、曰く『加州は大多數を以て日本人の土地所有權借地權後見人權及び米國人土地會社の株券所有を禁止する法律を制定したり此の立法が居留日本人に對し最も重大なる不正義たるは何人も否定し得ざる處なるべし加州に於ては人種的偏見と選擧上の

▼人氣取策

の爲め米國の

◇日本に於ける米婦人

＝その生活は愉快で便利＝

ナンシイ・オースチン夫人

で私達が最後に決定したのは横濱に最初に建てられた洋館の一つだつた外國人は日本人が居るから安心して住めるからである

◆彼等は永久

＝に借地してゐる

である、習慣として大概の家は三方に常盤の垣を廻らし一方に使用人の居る處や石炭小屋やた勝手がある、私は家具や掛書をを拵ねるのに可成りの時を費した、遂に日本の指物師と相談して、日本の後食堂と居室には櫻の家具、應接間には櫻の木の家具、ベッドルームにはエナメルの物を入れる事にした、全部の細目が定つて應接間の家具を

◆融通が利き

＝親切だつた良い召使ひが多いので家庭内の待遇は頗る容易で十二人位のお客に八コースの御馳走する位の晩餐會には全く主婦の手を煩はせない花類は色々あつて安いから室内やテーブルを美しくして置くの造作もない事であつた、庭球最も權威あるゼネーション誌は最近發行（十七日）の論說欄に於て加州問題に對し左の如き

▼正論を掲

げたり、曰く『加州は大多數を以て日本人の土地所有權借地權後見人權及び米國人土地會社の株券所有を禁止する法律を制定したり此の立法が居留日本人に對し最も重大なる不正義たるは何人も否定し得ざる處なるべし加州に於ては人種的偏見と選擧上の

▼人氣取策

の爲め米國の

◇布哇日本人

罷業再燃乎

▼改正賃金不服

未聞の砂糖騰貴時代の今年正月より七月迄布哇耕地日比兩國人勞働者は其餘慶に與る權利あり勞働者は其餘慶に與る權利あり

◆理由の下に同盟して給料値上げのストライキを斷行し耕主側をして二千萬弗の損害を蒙らしめ協調によりて一時落ち付きし如き狀態になりしも最近耕主側にて又急遽明年度の新給料率を決議し

▲月給三十弗

＝の小工場へ註文し度九仙（現在相場）に止まる間は勞働者に對して特別手當てを支拂ひそれ以上に騰貴する場合には月給ボーナスの總額現在報酬よりも減少するが如き不條理のものに改正せしとの風說を聞きし勞働者側には糖價の必ず九仙以上に騰貴すべき豫知し其賃金制に不滿足を唱へ再び同盟罷工の氣勢あり

▲大勢を見渡

せば一般投票の通過は何等の疑問無く、つば詰つて如何に『運動』して見た處で燒石に水なることは明白に何故であるか

▲日米新條約

が此加州法を無効にしやうとしてゐるとか、訴訟を起そうとしてゐるとか、中央議會に移民案が出るとか等の理由もあるが、更に此外に日本人が加州の立法に干渉した、日本人が政治運動をした、不都合千萬だといふ憤激が非常なる程度で彼等を激發してゐる事を見免れがしては居られない。恐らくは次の議會でフイラン先生掉尾の大活動をして此點に尾鰭をつけて咆哮するであらう。又來春の州會でも誰か此點を指摘して他の排日諸案に惹鞭を及ぼすであらう（後羽前）

▼考慮を要す

太平洋の兩岸に人種的偏見を有する曲論家あらば日米間の爭議を和局の裡に解決する事困難なり而して最初に友情を缺如せる行動を採れるものは加州を通じて爲せる米國なり吾人は猶は正氣を以て協議するの餘地あるを思ひ

▼正義の發

現に依り唯一の道を開かん事を熱望するものなり」

◇櫻府講演會

午後七時より櫻府小學校内に聞く辯士渡邊左の如し

司會者　未定

香人の態度　聚原　信一

永久的日米親善　山中　仲二

新土地法と農村論　安孫子久太郎

竹田文治郎　及川　八權

◇横濱の近郊

＝の小工場へ註文し

私達は例の小物師と一緒に品物の出來ぬを見に行つたりした私達は支那の書を壁に掛けた家具を貸し呉れたり私達の最初の晩餐宴には食器のセットまで貸して呉れた實際彼れは私達が一寸何か入用のものを云へば直ぐ萬事を呑み込んで特別配達で何でも持つて來て呉れた程

◇東京よりも

＝横濱の方が住み心地よく東京にが住んでゐる借家でも横濱に住んで出勤を毎日汽車か電車で通ふのである借家を探す事は米國と同じ樣に隨分困難なことで特に私共外國人は普通の日本家屋に住めないから撰擇の範圍が限られてゐる、近年までは外國式家屋の建設が極めて稀なかつたから私達が欲しいと思ふ樣な家屋の

◆空家は却々

＝見當らない日本式の家は清潔な畳と全く家具を置いてゐる見た處頗る綺麗で風雅だけれども私達の住むには不便である、實際美しいけれども椅子やベッドやテーブル其他の家具なしではやり切れぬ、仮

◇日本人の

永住の計を建てよ

▲災せられたる日本人の軍國主義より脱却して生活を爲す可し▼

◆加州同胞の實力は最も强味◆

▲將來にも

災ひを及ぼさんとする軍國主義的の事を一切來てたる民主的生活を營む樣に爲さざる可からずと思惟する樣に爲さざる可からずと思惟

▲米國に永

住する考へを最初に置き之れを實現し得る爲めに土地家屋を所有して定住して行くと云ふ事實は大に考へ

▲強味なり

と思はる尚は同胞が自力で發展し米國人と接觸を保つ點より在米日本人會や慈善事業などが同胞を指導し

▲優秀なる

＝澄明する

ものなり排日問題は各地殆んど一樣に行はれ如何なる日本人の事情を充分了解する迄に努力し在住同胞が精神誠意を披瀝して在米同胞の問題の解決を日本政府當局に仰ぎ又は政治問題を結び付けて爲さず又は政治問題を結び付けて爲さずして從つて先づ

▲米國に永

住する考へを最初に置き之れを實現し得る爲めに土地家屋を所有して定住して行くと云ふ事實は大に考へ

▲強味なり

と思はる尚は同胞が自力で發展し米國人と接觸を保つ點より在米日本人會や慈善事業などが同胞を指導し

▲優秀なる

＝澄明する

ものなり排日問題は各地殆んど一樣に行はれ如何なる日本人の事情を充分了解する迄に努力し在住同胞が精神誠意を披瀝して在米同胞の問題の解決を日本政府當局に仰ぎ又は政治問題を結び付けて爲さず又は政治問題を結び付けて爲さずして從つて先づ

▲將來にも

災ひを及ぼさんとする軍國主義的の事を一切來てたる民主的生活を營む樣に爲さざる可からずと思惟する樣に爲さざる可からずと思惟

◇在米同胞は結局自力で

永住の計を建てよ

▲災せられたる日本人の軍國主義より脱却して生活を爲す可し▼

◆加州同胞の實力は最も强味◆

華州の日本基督敎會を代表して加州同胞慰問の爲めに來桑各地の英語留學者に對して特別手當てを支拂ひそれ以上に騰貴する場合には月給ボーナスの總額現在報酬よりも減少するが如き不條理のものに改正せしとの風說を聞きし勞働者側には糖價の必ず九仙以上に騰貴すべき豫知し其賃金制に不滿足を唱へ再び同盟罷工の氣勢あり

▲月給三十弗

＝の小工場へ註文し

私達は例の小物師と一緒に品物の出來ぬを見に行つたりした私達は支那の書を壁に掛けた家具を貸し呉れたり私達の最初の晩餐宴には食器のセットまで貸して呉れた實際彼れは私達が一寸何か入用のものを云へば直ぐ萬事を呑み込んで特別配達で何でも持つて來て呉れた程

◇日本に於ける米婦人

＝その生活は愉快で便利＝

ナンシイ・オースチン夫人

で私達が最後に決定したのは横濱に最初に建てられた洋館の一つだつた外國人は日本人が居るから安心して住めるからである

◆彼等は永久

＝に借地してゐる

である、習慣として大概の家は三方に常盤の垣を廻らし一方に使用人の居る處や石炭小屋やた勝手がある、私は家具や掛書をを拵ねるのに可成りの時を費した、遂に日本の指物師と相談して、日本の後食堂と居室には櫻の家具、應接間には櫻の木の家具、ベッドルームにはエナメルの物を入れる事にした、全部の細目が定つて應接間の家具を

◆融通が利き

＝親切だつた良い召使ひが多いので家庭内の待遇は頗る容易で十二人位のお客に八コースの御馳走する位の晩餐會には全く主婦の手を煩はせない花類は色々あつて安いから室内やテーブルを美しくして置くの造作もない事であつた、庭球最も權威あるゼネーション誌は最近發行（十七日）の論說欄に於て加州問題に對し左の如き

▼正論を掲

げたり、曰く『加州は大多數を以て日本人の土地所有權借地權後見人權及び米國人土地會社の株券所有を禁止する法律を制定したり此の立法が居留日本人に對し最も重大なる不正義たるは何人も否定し得ざる處なるべし加州に於ては人種的偏見と選擧上の

▼人氣取策

の爲め米國の

◇其責一に米國に在り

加州の暴擧

◆正義の發現に依り

＝和局を得よ

近刊の『ネーション』誌

米國の週刊政治經濟雜誌として最も權威あるゼネーション誌は最近發行（十七日）の論說欄に於て加州問題に對し左の如き

▼正論を掲

げたり、曰く『加州は大多數を以て日本人の土地所有權借地權後見人權及び米國人土地會社の株券所有を禁止する法律を制定したり此の立法が居留日本人に對し最も重大なる不正義たるは何人も否定し得ざる處なるべし加州に於ては人種的偏見と選擧上の

▼人氣取策

の爲め米國の

◆先生の大恐慌

▲馬鹿高の支那料理

▲那人のチャプスイは米國に到る處に發展してゐるが市俄古の先生迷も御多分に漏れず盛んに大陸的發展をして弗金の貯め込みに專念中であつた處最も安チャプスイの値段が馬鹿高と聞いたが同市事業會では一昨日支那料理店十二人を呼出して試問及んだ所が先生迷に當惑したシンナ迷も餘の首高迷とならずチャプスイ値段の高騰を喝出して高價なる所以を說明したけれども發見長のアメリカスキ氏は『お手輕料理屋』驚嘆に幸德光影氏が出品したる『午後』が二等に入選百弗の賞金

二百十九名支那人百九十二名比律賓人三十六名歐洲人百七十三名貨物は二千七百噸内東部行三百噸にて茶生絲類にて當地入港は廿四日早朝の豫定なりと

◎胸衣も値下

市俄古來電に依れば同地のコーセット製造大會社は絹綿何れの品も二割乃至二割五分の値下を爲す旨發表せり

◎同胞畫家入選

羅府に於て開催せられたアート倶樂部の展覽會に幸德光影氏が出品したる『午後』が二等に入選百弗の賞金

◎其責一に米國に在り

加州の暴擧

◆正義の發現に依り

＝和局を得よ

近刊の『ネーション』誌

米國の週刊政治經濟雜誌として最も權威あるゼネーション誌は最近發行（十七日）の論說欄に於て加州問題に對し左の如き

▼正論を掲

げたり、曰く『加州は大多數を以て日本人の土地所有權借地權後見人權及び米國人土地會社の株券所有を禁止する法律を制定したり此の立法が居留日本人に對し最も重大なる不正義たるは何人も否定し得ざる處なるべし加州に於ては人種的偏見と選擧上の

▼人氣取策

の爲め米國の

◎天洋丸の貨客

▲廿四日早朝入港

東洋汽船會社客船天洋丸は十八日午前十時ホノルを出帆當地に向ひたるが船客は一等二百二十二名二等五十四名三等百九十四名外に玖馬行支那人百二十九名にして國籍別にすれば日本人

▼正義の發

現に依り唯一の道を開かん事を熱望するものなり」

賣一に米國に在り

加州の暴擧

◆正義の發現に依り

＝和局を得よ

近刊の『ネーション』誌

米國の週刊政治經濟雜誌として最も權威あるゼネーション誌は最近發行（十七日）の論說欄に於て加州問題に對し左の如き

▼正論を掲

げたり、曰く『加州は大多數を以て日本人の土地所有權借地權後見人權及び米國人土地會社の株券所有を禁止する法律を制定したり此の立法が居留日本人に對し最も重大なる不正義たるは何人も否定し得ざる處なるべし加州に於ては人種的偏見と選擧上の

▼人氣取策

の爲め米國の

賣一に米國に在り

加州の暴擧

◆正義の發現に依り

＝和局を得よ

近刊の『ネーション』誌

米國の週刊政治經濟雜誌として最も權威あるゼネーション誌は最近發行（十七日）の論說欄に於て加州問題に對し左の如き

▼正論を掲

げたり、曰く『加州は大多數を以て日本人の土地所有權借地權後見人權及び米國人土地會社の株券所有を禁止する法律を制定したり此の立法が居留日本人に對し最も重大なる不正義たるは何人も否定し得ざる處なるべし加州に於ては人種的偏見と選擧上の

▼人氣取策

の爲め米國の

要求欄

求農家　フレンズ十一ズ町野菜園に雇はれる地あり請仲介館の方法にて殺したし場所ユニヨン報　古河正太郎　加州中央農會 510 Battery St., S. F.

セルスメン二人用　名古屋へ美術織寶に經驗ある者を左記へ　木田商店 1630 Fillmore St., S. F.

求婚　年齢五十三還厚眞實にして七歳四十五六迄の女を求む　希望者はポスト街一五五一谷常男氏迄照會をこと

アイオイ工人用　御希望の方は至急詳細　御照會をこと高給を拂ふ　ミカド洗濯所 239 Lake St. Reno, Nev.

賣子入用　日本婦人にて英語なる解し美術雜貨に多少經驗ある方を望む午前中に來談ありたし　アコット街二二七　松岡美術雜貨店

保姆　一名速急入用に付希望者は須市佛教會迄御申込被下度尚四十弗乃至六十弗を支拂ふ　須市兒童寄宿會

女教師招聘　速急御申込ありたし　コルサ日本學園 Kindergarten, Cor. Main & 9th St. Colusa, Calif.

賣子入用　日本婦人にて英語なる解し美術雜貨に多少經驗ある方を望む午前中に來談ありたし　アコット街二二七　松岡美術雜貨店

保姆　一名速急入用に付希望者は須市佛教會迄御申込被下度尚四十弗乃至六十弗を支拂ふ　須市兒童寄宿會

女教師招聘　速急御申込ありたし　コルサ日本學園 Kindergarten, Cor. Main & 9th St. Colusa, Calif.

賣物　オークランド市第十街四三四物店至急賣度し千五百弗の價ある物大見切りにて千百弗に賣渡す希望者は前記迄 W. L. Calhoun, Oakland, California.

大婦者入用　矢島園海外協會迄要店手數料ペレフキタクニ六〇円　矢島園事務所

賣物　市内目抜の洋服洗濯所主人都合に依り至急譲たし委細は電話バレンシヤ六七三六番へ

賣地　オレゴン州農場上地十百八十英町水便の清澄具附にてオクヤ迄一百十五哩の價格は一弗乃至二弗

賣物　アイスクリーム及キャンデー業　ポスト街一五五一谷常男氏迄照會をこと

貸室　日當りよく室日本人紳士に貸したしスカット街二五〇

古本高價買入　如何なる書類にても御送附を願ひ送金致す　文明堂書店 1231 N. San Pedro St., L. A. Calif.

懸賞尋人　福嶋餘一二瓶辰彌　信夫郡　有に急用あり住居御承知の方は左記まで至急御一報被下度　先着の方には懸賞金二十五弗を贈呈可致候　二瓶　倉次 213 J St., Sacramento, Calif.

尋人　千葉縣人　姉渡米す至急面會し度し　齊藤平吉 1519 Powell St. S. F.

新宅和三郎　廣島縣佐伯郡　國元より重要の件に付至急面會したし　河内村 P. O. Box 118 Auburn, Cal.

平田清一　山口縣豊浦郡　田中知紀に急用あり左記へ御文通乞ふ尚は同人御存知の方は郵稅先拂にて御一報願上候　平田キク 419 E. 5th St., Los Angeles, Cal.

尋人中督良心　廣島縣安芸郡　大島郡阜町村　大字小野津右の者に實船用件あり　中督電 262 Stockton St., S. F.

石川靜二　岡山縣人に大至急面會したし　長野市信濃 R. F. D. 1 Box 315 Sacramento, Cal.

熊本縣人K西村、A前田　右兩名に大至急用件あり　住所御存じの方は郵稅先拂にて乞御一報　古河正太郎 P. O. Box 921, Brawley, Cal.

尋人　千葉縣人　姉渡米す至急面會し度し　齊藤平吉 1519 Powell St. S. F.

新宅和三郎　廣島縣佐伯郡　國元より重要の件に付至急面會したし　河内村 P. O. Box 118 Auburn, Cal.

平田清一　山口縣豊浦郡　田中知紀に急用あり左記へ御文通乞ふ尚は同人御存知の方は郵稅先拂にて御一報願上候　平田キク 419 E. 5th St., Los Angeles, Cal.

尋人中督良心　廣島縣安芸郡　大島郡阜町村　大字小野津右の者に實船用件あり　中督電 262 Stockton St., S. F.

増田武春　福井縣坂井郡　家督相續に付急用あり　且錄年病に罹り　増田貞次郎　岡山縣倉敷市　至急御來訪ありたし

R. F. D. 2 Box 52 Gardena, Cal.

◎本社信徒日本銀行（Jul. Nov. 20-1920）内山外澤（田口嘉庄太郎）（菊岡）内間安彌　神鍋山岩手縣（鹿島嶋）松原淳一、内藤増登　田中敏作（以上廣島）米澤武藏（京都）

ウェルドン消火器　自動消火器　各國專賣特許　之を備へれば火事の恐れなし　東洋及米國一手販賣　三德商會　桑港ウエブスター街一五六二　電話ウエスト四二七一

進物用鑵入茶　相馬山　千代の友　梅香　寒の花　最上　大走り新茶　相馬自園　富士自園　玉露　松　白　冠　好老花の王　相馬茶店　SOMA TEA STORE 232 E. First St., L. A. Cal. Phone 6318

時計寶石類　廉價販賣修繕　桑港ポスト街一六六四　電話フルモアー六四五　板谷時計店

英語教授　製靴　造卸小賣　特に御贈答品は御注文次第調製　遠方より鮮魚食料品一切　かまばこ　桑港グリー街一五二九　電話ウエスト四三七九　金門商會

水晶印形　甲州堂　筋骨調整術　最新式　マッサージ　櫻庭健堂　1911 Eddy St., San Francisco, Cal.

治療時間午前九時より午後五時迄　桑港ポスト街一七八二　電話フィルモアー四〇四七

武田竹造　桑港スタクトン街七三八トンネル口　日本行　流船切符取次所　藝備旅館　館主杉岡岩治　電話ガーフキルド二〇五九

Taisho Drug Co. 1601 Post St., San Francisco, California

醫者と病人　專門通譯　新荷到着　大賣出し　湯たんぽ　定價（一弗五十仙より）　本舗は毎年製造元と契約すみにて極上等の品を安價に仕入安價に販賣する目的なれば大勉强仕り候へば續々御注文の程願上候　桑港ポスト街一六〇一　大正藥舗　電話ウエスト五九七七

各位の御愛顧に依り從來の旅館手狹に相成候に付き今回サウスパーク八四に本館を新に開業已に諸般の設備完整仕居候間倍當御引立被下續て御投宿希上候　天洋丸便十二月三日發　海外協會觀光團員募集　館主　沙崎善之助

本館開業十一月十日紀の國屋　本館　桑港サウスパーク八四　電話架設中　分館　桑港ブキヤナン街一六二四　電話ウエスト五五四六　84 South Park San Francisco, Calif. 1624 Buchanan St., S. F. Cal. Tel. West 5546

KASHU HOTEL 1019 Stockton St., S. F. Tel. Douglas 3113 Sutter 8667　十二月三日發天洋丸　加州母國觀光團　出國稅免除の特典を有す　加入御希望の方は御一報次第趣意書を御送附可申上候　申込所　加州館　館主中野作太郎

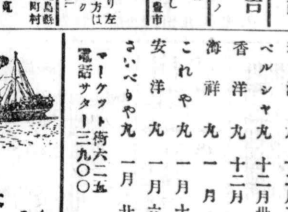
迎妻者の福音　十二月三日發天洋丸　加州母國觀光團　出國稅免除の特典を有す　加入御希望の方は御一報次第趣意書を御送附可申上候　申込所　加州館　館主中野作太郎

觀光團員募集　十二月三日天洋丸　桑港出帆東洋觀光團、流船切符取次　電話ウエスト五二一五　1551 Laguna St., San Francisco, Calif.　日本ホテル

觀光團員募集　御通知次第趣意書贈呈　日本行流船切符取扱　館主　田村信吉　電話ガーフィルド二一九六　440 Pacific St., S. F. Calif.　田村旅館

募集滿員締切　電話ウエスト二九一六　1570 Buchanan St., S. F. Cal.　北米旅館　高田桑吉

フェリーより一番近き旅館歸國迎妻者に便利な場所　日本行　切符取扱所　37 Jackson St., San Francisco, Calif. Tel. Kearny 2137　山口屋旅館



日本郵船株式會社　409 Colman Bldg. Seattle, Wash.

シアトル出帆廣告

香取丸　十一月十九日　午前十時
鹿島丸　十二月十日　午前十時
諏訪丸　一月四日　午前十時
伏見丸　一月廿七日　午前十時

發船名表

天洋丸　十一月廿四日　十二月三日　波止場卅四番
靜洋丸　十二月十九日　十二月廿一日
春洋丸　十二月二十日　十二月廿九日
ベルシヤ丸　十二月卅一日　一月八日
香洋丸　十二月下旬
海祥丸　一月中旬　貨物船日本行
これや丸　一月十三日　一月廿四日
安洋丸　一月六日　一月十日　ポ市經由
さいべりや丸　一月廿七日　二月五日

日本行　東洋汽船株式會社　マーケット街六二五　電話サター三九〇〇

洪水

櫻面都河大氾濫　米田海と化す

◆濁水の渦巻—橋梁破壞—
—滊車不通—救援隊出動◆

流域一帶の危險

—北加日本人米作田の大慘事—

雨！雨！雨！週日來降り續いた雨が加州殊に北加州に隅ひしサクラメント河が氾濫し堤防橋梁が危險に瀕し低地に在る住民及び家畜の避難を氣象臺より警告する所あつたことは昨紙既報の如くであるが昨日に至るも降雨猶は歇まずサクラメント河が刻々増水し來り其河上コルサ河の急流には濁水渦卷き橋梁を浸ひ遂に堤防二箇所を崩潰二千英町の米田が見る〳〵中に海と化し家屋流され鐵路阻碍され滊車不通となり恐るべき惨事となつた

▼桑港ポ市間

鐵路不通

▲二ケ所崩壞

サクラメント河上流コルサ附近に於て堤防が二箇所一昨夜遂に崩壞し附近の數千英町米田が忽ちに海と化した、第一の崩壞場所は北十一哩に及び、第二番目はコルサの北一哩に達し、コルサ附近の河水は昨朝九時には廿呎も増水した、附近に住む男子は總出まなつて河水の氾濫する堤防の崩壞防止に力めて居る、又ケネッテ、シャスタ郡地方の鐵路の支柱が濁水に浸はれ危險に瀕したのでエス・ピー鐵道シャスタ區域が交通遮斷するるに町に及んだ、其損害數千万弗に達すべく同胞農家は此方面に多數發展して居るので其の被害は尠なからざる見込みである、ピューチ郡にある例のフキーラン上院議員の所有

▼米國の　の千英町ばかり

も洪水で一面の海と化し莫大なる損害だがヂャコブ、バーベー兩名の借地になつてると云ふ

▼三十年來の

レコード

▲ソノマ郡で

合衆國氣象臺か昨日正午報告する所に依るとソノマ河水の増水はケネッテ、シャスタ郡地方の鐵路が廿三呎、レッドブルッフ廿三呎、コルサ廿八呎、メリスビル十一呎七吋、オロビル廿五呎サクラメント廿九呎と云ふ有樣

▼ソノマ

雨は卅年以來のレコードであるルシアン河附近では七年來の大雨であるとケンネス谷よりサクラメント河に通ずる途中數箇の橋は危險に瀕して居る

▲降雨量

▲北加に多し

昨日過去廿四時間内に於ける降雨量は

レッドブラフ一吋、サクラメント〇吋
八〇、スタクトン〇吋一〇、オロビル三吋三五、サーロー二吋八〇、コルサ一吋四〇

の割合にて北加一帶は多量なる

▲降雨が　あつた譯、更に

サンタローサよりの消息に依るとエ北西太平洋鐵道、電鐵、道路等の被害多し、ロシヤン河も増水しつゝあるとのこと、エス・ピー會社にては被害地の檢査の爲め視察委員を派遣し調査に

▲着手した　た、若し此の調子で猶は降雨が續けば更に被害莫大なものがあるとの

●不穩の雲行き

漸く收まる

▲太平洋海運界

＝三井の同盟復歸承諾＝

昨紙所報桑港に於て開催された太平洋西廻り運賃同盟協議會に於て今後運賃の引下げ或ひは積荷の爭奪等を相互に避くる樣協定せる際後來同盟に加入し居たりし三井物産會社が

▲事業　不振を理由として同盟脱退を申出で同時に沙港方面に就航の英國青筒線も三井同じ行動を執るんとの氣勢を示したる爲他の日郵、大商、東洋、支郵、太郵、ストラッチース、エンド・ダクソン及びスプレックル兄弟商會の諸線は勢ひ右二線に對抗し運賃を引下げても極力競爭せんとの

▲所存　を固めたるも最後の通牒を發する前に今一度再考を促がすの必要有るを認め其の旨通知したるに三井側も我を折從前の如く同盟に復歸するを承諾、又青筒線も依然同盟外にあるも運賃其他に就いては同盟と同一歩調を執ることに決定した

●米國海軍新設根據地は

多分桑港に決定か

▼西部國防の重要地

＝日本の前獨領諸島占有は米國々防上の重大恨事と＝

◆中央下院海軍委員長の聲明

六千萬弗の巨額豫算を以つて新設する可き米國西部沿岸海軍根據地の敷地を物色す可く中央議會海軍委員一行の來桑中なるは既報の如くなるが同一行は昨日アラメダ海岸の

▼敷地を　實檢せる後委員長なるイリノイ州選出共和黨下院議員ブリテン氏は新設根據地に關聯し英字紙記者に向つて語らく『總ての便宜上新設海軍根據地は多分桑港灣内と決定するだらうが若し決定を見たら早遽工事に着手する必要がある新根據地が

▼竣成を　見る迄即ち今後三年間には米國海軍力は非常に強力になる豫定で少くも英國を除いた他の三國の海軍力に匹敵するだらう從つて日本の海軍などは何等恐るゝの必要がなくなる譯だが自分としては猶ほ萬全を期して益々米海軍の勢力充實に努力し

▼日本と　英國との聯合海軍に對抗し得る位に迄進めて見る積りだが我が米國と同種同文の英國が日本と公私共に種々の攻守同盟を結び結合しつゝあるは米國人として非常に注意すべき

▼趨勢　である日本の海軍なるが故に米國の發展次第では何日今日の友國を明日の敵に廻はすかも計られぬ次第

▼自分の　觀る處では米國の海軍は世界各國の海軍に比して

▼機能　が米國西部國防上如何に重要なる任務を有つてゐるかと驚かれる云々と

▼合衆國　今後の太平洋防備は將來一段の困難を誘致した

▼支那街　若し謹議島の第一根據地、布哇真珠灣の第二根據地に敗れた際は最後の守戰として太平洋沿岸、華州か央州或ひは加州に設けらるゝ第三根據地に據らねばならぬ、此の點より見ると新設

▼根據地　が米國西部國防上如何に重要なる任務を有つてゐるかと驚かれる云々と

●有力なる

嫌疑者就縛

▲郵便盜難事件後報

合衆國郵便列車三百五十萬弗盜難事件に關し昨日犯行地カウンスルブラフス市より逮捕した後報に依れば同地一帶に嚴密なる搜索を繼續し居れる合衆國東洋、支郵、太郵、ストラッチース、エンド・ダクソン及びスプレックル兄弟商會の諸線は勢ひ右二線に對抗し運賃を引下げても極力競爭せんとの

▲所存　を固めたるも最後の通牒を發する前に今一度再考を促がすの必要有るを認め其の旨通知したるに三井側も我を折從前の如く同盟に復歸するを承諾、又青筒線も依然同盟外にあるも運賃其他に就いては同盟と同一歩調を執ることに決定した

▲絶　對に秘密に附する因みに盜難品の桑港各銀行より逐附せる貨幣、有價證券等續々と判明されつゝあると

●米國海軍委員長の聲明

六千萬弗の巨額豫算を以つて新設する可き米國西部沿岸海軍根據地の敷地を物色す可く中央議會海軍委員一行の來桑中なるは既報の如くなるが同一行は昨日アラメダ海岸の

▼敷地を　實檢せる後委員長なるイリノイ州選出共和黨下院議員ブリテン氏は新設根據地に關聯し英字紙記者に向つて語らく『總ての便宜上新設海軍根據地は多分桑港灣内と決定するだらうが若し決定を見たら早遽工事に着手する必要がある新根據地が

▼竣成を　見る迄即ち今後三年間には米國海軍力は非常に強力になる豫定で少くも英國を除いた他の三國の海軍力に匹敵するだらう從つて日本の海軍などは何等恐るゝの必要がなくなる譯だが自分としては猶ほ萬全を期して益々米海軍の勢力充實に努力し

▼日本と　英國との聯合海軍に對抗し得る位に迄進めて見る積りだが我が米國と同種同文の英國が日本と公私共に種々の攻守同盟を結び結合しつゝあるは米國人として非常に注意すべき

▼趨勢　である日本の海軍なるが故に米國の發展次第では何日今日の友國を明日の敵に廻はすかも計られぬ次第

▼自分の　觀る處では米國の海軍は世界各國の海軍に比して

▼機能　が米國西部國防上如何に重要なる任務を有つてゐるかと驚かれる云々と

●中央官憲保管の

酒類紛失す

▲郵便局地下室の盜難

桑港郵便本局地下室には合衆國檢事局より酒類運搬事件裁判の證據物ウイキー一樽及び他の酒類一ケースを預け有りし處一昨日中味全部紛失し居るを發見せり郵便局長フェイ氏は直ちに調査を開始せるが嫌疑者として同地下室の夜番たりしアントニオ

▼レノなる男に取監され嚴重なる取調べを受け居れり該品は今より約一年半前に當時の禁酒州なりしオレゴンに運び込まんとせるを差押へたるものにして現今持ち警官隊を督勵して嚴探せしめ居たりしが同隊は一昨夜王子の相場を以てすれば數千弗の價格ありと

◆新年　論文藝苑募集

明春の文壇を飾るべく左の規定により江湖より文藝作品及び論文を募集す

▼短篇小說（二百行以内）
▼短歌
▼俳句（新年雜詠）
▼川柳
▼一口噺

材料は桑港に取り新年に關するを要す

▼特別課題論文

『青年團の綱領』（十四字詰二百行以内）
『如何に此難局に處すべき乎』（四字詰二百行以内）
『大農か小農か』（十四字詰二百行以内）

▼賞金及投稿規定

特別課題一等十弗、二等五弗、短歌、俳句、川柳、一口噺各一等三弗、二等二弗、三等一弗

投稿は各種別紙にて片面に記し字體明瞭なるを要し何れも日米新聞社宛、封筒に應募文藝と記されたし締切は十二月二十日

日米新聞社

●賭博常習者

「鐵砲濱」送還

昨日の西比利丸で賭博常習者和歌山縣人通稱鐵砲濱事木村鶴男は昨日出帆の西比利丸で遂に送還された同人は常に賭博場に入り良からぬことのみに耽り

▲評判頗ふる　惡かつたが昨年末持兇器罪にて檢擧され其後監視付にて出獄し居りしが過般來桑所にて不正小切手使用詐欺及び賭博常習者として捕縛されスタクトン市監獄に投せられ一昨日ブランマー判事の法廷に於て裁判の結果送還に決し昨日同市警官が護送し來り當地にて一夜を過し

▲西比利丸に　て送還された

たのであつて賭博常習者としてスタクトンの賭博撲滅期成同盟の及び同會が奔走の上送還の手續を執り既に先便にて送還すべく竹葉幹事附添ひ出桑する筈であつたが竹葉幹事の遭難で遅くれてゐたのであつて在日會にては三等

▲船客切符の　購入手續を執り船客として歸國せしめたる事である

●貨客滿載して

西比利出帆

▲棉の輸出增加

西比利丸は既報の如く昨日午後一時日本に向け出帆したるが船客は一等ホノル、十八名、横濱人十六名、神戸二十名、長崎廿二名、マニラ廿五名、香港廿四名、合計百九十五名、三等二十名、特別三等四十八名、三等三百八十四名あり、二等二百八十名あり滿員の盛況にて三等船客中には觀光團百四十三名も加はり居たり船室不足し次便天洋丸、支那號に百五十名程殘されたり貨物は合計四千噸

スチール、コットン等が主なるものにてコットンは約四千俵に及び今輸出漸く增加したり

◆蝙蝠傘の指紋

▲盜んだ者は誰？

昨日加州高等法院の首席判事アングロッチ氏が友人と一緒にパレスホテルで食事中主會より二箇目の個椅子に坐わつて新聞を拡げて居た一人の紳士が何者かに盜まれた▲同人の最高法官の貴重品なりと盜むとは不埒千万なる極の奴め▲さあらば被害者主人公より側の人達が承知せぬ！ソレッと許りに各方面に捜ねつゝ金を行方知れず探索した▲處が判事殿の下腹に浮かんだ事があつて午前中に居たハイ・ヲチックユニオン倶樂部に引つ返へして探して見ると玄關先きにチャンとある▲然がも其の朝に判事殿の指紋がアリ〳〵と……詰り忘れたのさ

●桑港麵●元組　其名聲々たる藤本商會の冠麵は一大擴張を計ると同時に品質及包裝に改良を加へ且つ安價多賣主義を以て一般顧客●利益を計るべし

Fujimoto Co. 1014 Stockton St., S. F.

●天ヂギイ白味噌　廿五斤入六十五仙加州内運賃無料品質善良並に申さば御試しなれば分明各地に販賣店あり●處の分は直接左に

Kagami Miso Co. 1334 Post St., S. F.

●桑港ポ市間　人十六名、神戸二十名、長崎廿二名、マニラ廿五名、香港廿四名、合計百九十五名、三等二十名、特別三等四十八名、三等三百八十四名あり滿員の盛況にて三等船客中には觀光團百四十三名も加はり居たり船室不足し次便天洋丸、支那號に百五十名程殘されたり貨物は合計四千噸

スチール、コットン等が主なるものにてコットンは約四千俵に及び今輸出漸く增加したり

●賭博常習者

「鐵砲濱」送還

昨日の西比利丸で賭博常習者和歌山縣人通稱鐵砲濱事木村鶴男は昨日出帆の西比利丸で遂に送還された同人は常に賭博場に入り良からぬことのみに耽り

▲評判頗ふる　惡かつたが昨年末持兇器罪にて檢擧され其後監視付にて出獄し居りしが過般來桑所にて不正小切手使用詐欺及び賭博常習者として捕縛されスタクトン市監獄に投せられ一昨日ブランマー判事の法廷に於て裁判の結果送還に決し昨日同市警官が護送し來り當地にて一夜を過し

▲西比利丸に　て送還された

たのであつて賭博常習者としてスタクトンの賭博撲滅期成同盟の及び同會が奔走の上送還の手續を執り既に先便にて送還すべく竹葉幹事附添ひ出桑する筈であつたが竹葉幹事の遭難で遅くれてゐたのであつて在日會にては三等

▲船客切符の　購入手續を執り船客として歸國せしめたる事である

●貨客滿載して

西比利出帆

▲棉の輸出增加

西比利丸は既報の如く昨日午後一時日本に向け出帆したるが船客は一等ホノル、十八名、横濱人十六名、神戸二十名、長崎廿二名、マニラ廿五名、香港廿四名、合計百九十五名、三等二十名、特別三等四十八名、三等三百八十四名あり滿員の盛況にて三等船客中には觀光團百四十三名も加はり居たり船室不足し次便天洋丸、支那號に百五十名程殘されたり貨物は合計四千噸

スチール、コットン等が主なるものにてコットンは約四千俵に及び今輸出漸く增加したり

◆明年の新流行

▲新大統領の好み

昨夜當地に裁縫師組合の晩餐會があつたが其席上幹部の一人ファーレイ氏の演說に依ると明年の男子用去服には　ハーテンガ型でも云ふ可き新しいのが出來上つて流行するであらうと、夫れはブルー或ひはダークグレイの色で極く溫順い寛な新大統領ハーディンガ氏の好んで着る型である（華府十九日發電）

至り桑港ポートランド線は

▼不通となつた、之れが應急修理に着手したから遠からず開通するであらうと昨日午後一時桑港事務所に電話があつた

▼莫大なる

米田被害

▲數千英町浸水

コルサ地方の農園は洪水の爲め農作物に莫大の被害を蒙つた農家が之を防止するため勞働者の應援を求めたので附近の都市よりは多數の勞働者が救護に赴いたグレーン、コルサ地方の收穫米

▼七千俵　は浸水されたとの報告があつたがウッドランド地方では約四割の損害を見込み、コルサ附近では浸水數千英

◇射的場物語

桑港に八軒

日本人の經營

＝堂々と乘込む鐵砲泥棒＝

◇黄金時代は戰爭氣分に滿ちた兵隊さんのお稽古◇

▼お客さへあれば

▼ボロイ商賣

「鐵砲濱」送還

昨日の西比利丸で賭博常習者和歌山縣人通稱鐵砲濱事木村鶴男は昨日出帆の西比利丸で遂に送還された同人は常に賭博場に入り良からぬことのみに耽り

▲評判頗ふる　惡かつたが昨年末持兇器罪にて檢擧され其後監視付にて出獄し居りしが過般來桑所にて不正小切手使用詐欺及び賭博常習者として捕縛されスタクトン市監獄に投せられ一昨日ブランマー判事の法廷に於て裁判の結果送還に決し昨日同市警官が護送し來り當地にて一夜を過し

▲西比利丸に　て送還された

たのであつて賭博常習者としてスタクトンの賭博撲滅期成同盟の及び同會が奔走の上送還の手續を執り既に先便にて送還すべく竹葉幹事附添ひ出桑する筈であつたが竹葉幹事の遭難で遅くれてゐたのであつて在日會にては三等

▲船客切符の　購入手續を執り船客として歸國せしめたる事である

●賭博常習者

「鐵砲濱」送還

昨日の西比利丸で賭博常習者和歌山縣人通稱鐵砲濱事木村鶴男は昨日出帆の西比利丸で遂に送還された同人は常に賭博場に入り良からぬことのみに耽り

▲評判頗ふる　惡かつたが昨年末持兇器罪にて檢擧され其後監視付にて出獄し居りしが過般來桑所にて不正小切手使用詐欺及び賭博常習者として捕縛されスタクトン市監獄に投せられ一昨日ブランマー判事の法廷に於て裁判の結果送還に決し昨日同市警官が護送し來り當地

▲西比利丸に　て送還された

たのであつて賭博常習者としてスタクトンの賭博撲滅期成同盟の及び同會が奔走の上送還の手續を執り既に先便にて送還すべく竹葉幹事附添ひ出桑する筈であつたが竹葉幹事の遭難で遅くれてゐたのであつて在日會にては三等

▲船客切符の　購入手續を執り船客として歸國せしめたる事である

●家賃下げ

▲昨日アパートメント經營者及支配人組合長フリッツ氏より●報告に依れば他の諸物價下落と反對に建築材料の依然騰貴せる爲め一般の家賃は益々分下る見込みなしと

●安部牧師講演　加州各地を巡回したる華州數會加州同胞慰問使なる沙港の安部牧師は明日曜日午前十一時王府獨立教會に於て講演を爲す由

●學生會討論會　二十日（土）午後八時半より討論會を開き國際聯盟の可否につき左の六辯士にて討論す可しと

民主黨　鮑田、北村、大下
共和黨　立川、福嶋、吉村

●エピスホテル　ピスホテルと日本行乘船分一、二、三等共何時下の船申込に應じ迎妻子御出迎への御方に特に親切丁寧に御世話致します室内湯水設備あります

1645 Buchanan St., S. F. Calif.

●桑港麵●元組　其名聲々たる藤本商會の冠麵は一大擴張を計ると同時に品質及包裝に改良を加へ且つ安價多賣主義を以て一般顧客●利益を計るべし

Fujimoto Co. 1014 Stockton St., S. F.

●天ヂギイ白味噌　廿五斤入六十五仙加州内運賃無料品質善良並に申さば御試しなれば分明各地に販賣店あり●處の分は直接左に

Kagami Miso Co. 1334 Post St., S. F.

●永井保險は同胞實力を愈々強固にする爲諸君を紐育生命に紹介す右會社が同胞に全力同情を表し土地法案に反對の投票せる誠意に對し奮て大いに加名あれ

1685 Post St., S. F. (Fillmore 2652)

文具品並に玩具

クリスマス御用品
フィルモア街一八五五
LATHEIS TOYS
1855 Filmore St., S. F.

御菓子卸商

菊屋商店

桑港グラント街四一七
電話ガーフィルド二二九八

上等婦人帽子　特別勉强

フィルモア街一六四〇（夜間營業）

ローズ帽子店

歸國に付御挨拶

私事不在中は不一方御厚情に預り且つ今回歸國に際しては御餞別御見送等重ね〳〵御厚志を辱ふし難有奉謝候本日無事ツイベリヤ丸に乘船出發仕候間乍憚御安心被下度乍畧儀以紙上御挨拶申上候

桑港にて（ギルロイ）十一月十九日　古賀千代藏

英語學校　毎週月火木金午後七時半

オクターブ街一四〇九九　青年會

久しく田舍にありし處今回歸業仕り候間倍舊●御引立願上候

大工並指物師　古木

電話ウエスト六五三一
1529 Geary St., S. F. Cal.

桑港フィルモア街一〇〇九番（パインとカーフォルニア間）

元吉寫眞館

電話ウエスト一〇五四

桑港サター街一七九七

森山寫眞館

桑港ポスト街一六二三

金門貸自働車　猪野

電話フィルモア二五九

英語個人教授

グリー街一四〇八ハ　セスカイル

桑港ポスト街一八二二

春月堂

煎餅卸小賣
電話ウエスト一四二八

本年度

新茶定價表

大々走新茶　一斤十五弗
大走り新茶　一斤三弗
大走り鐘入　一斤三弗
宇斤一弗半仙
岡　一斤七十五仙
春　一斤一弗五仙
相馬園　一斤一弗半仙
初　一斤一弗半仙
相馬第一　十斤入第十五弗
同第二　同十三弗半仙
同第三　第五斤入六弗
同第四　同五弗

電話六三二九八

相馬茶店

234 E. First Street, Los Angeles.

桑港ポスト街一六二三

支那料理新開業

日本人を歓迎し大勉强す

東方樓

桑港グラント街七四七

桑港フィルモア街一四三七

●別延●遠呈

吉里寫眞館

電話ウエスト八六五〇

和洋雜貨、時計、寶石類、煙草

財滿商會

桑港グリー街一五一五
電話ウエスト九三九二

佛事用

御菓子調進所　勉強堂製菓會社

桑港グリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

祝儀用

（鶴の子餅、御加增餅、丸餅、御赤飯、模樣入煉羊羹、模樣入カステラ、彩色入打物、落雁）

其他三ツ盛、五ツ盛、引菓子、命名紙、煙草

祝に限姓名入羊羹麗に調進し又

季節向

（立田野饅頭、白飯、引菓子、模樣入煉羊羹、彩色入打物、落雁、其他勝部口取）

御菓子調進所　勉強堂製菓會社

桑港グリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

最新刊紹介

鄭富蘇峰　大戰後の世界と日本　三、五〇
秋田貫四郎　夜の京阪　二、五〇
クロポトキン　近世科學と無政府主義　一、九〇
川島璋一郎　歴史物語　鐵血録　二、〇〇
勝俣銓吉郎　平元兵吾　日米戰ふ可きか　二、二〇
神保格　英文和根柢一万語　一、〇〇
井上康文　愛する者へ　一、三〇
堀内文次郎　釋宗演と活動　一、六〇
釋宗演　最後の一語　一、七〇
ブレンド博士　國家と保健　二、〇〇
文明協會　兒童と其教養　二、三〇
博文館　長編講談　勢力富五郎　二、六八
同　長編講談　四ッ谷怪談　二、六八

日本御土產理想適品は自轉車です
最新式自轉車を大安價に差上げます
御出桑の節は是非御來店を願ます

部谷自轉車商會

桑港ポスト街一八二四　電話ウエスト八三九六

よろづ商店

1300-4th St., Sacramento, California

秋冷の候各位益御多祥の段奉賀候陳者繁榮今回東京其他の共進會にて賞牌を得たる美術菓子製作●銘技大野倉吉氏を職長として招聘仕候に就ては故國に於て流行の新新物を調進可仕候間何卒恪為●御愛顧に預り度奉願上候

桑港ポスト街一四三七
電話ウエスト八六五〇

●遠呈

吉里寫眞館

和洋雜貨、時計、寶石類、煙草

財滿商會

桑港グリー街一五一五
電話ウエスト九三九二

佛事用

御菓子調進所　勉強堂製菓會社

桑港グリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

祝儀用

（鶴の子餅、御加增餅、丸餅、御赤飯、模樣入煉羊羹、模樣入カステラ、彩色入打物、落雁）

其他三ツ盛、五ツ盛、引菓子、命名紙、煙草

祝に限姓名入羊羹麗に調進し又

季節向

（立田野饅頭、白飯、引菓子、模樣入煉羊羹、彩色入打物、落雁、其他勝部口取）

御菓子調進所　勉強堂製菓會社

桑港グリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

桑港ポスト街一八二四　電話ウエスト八三九六

部谷自轉車商會

日本御土產理想適品は自轉車です
最新式自轉車を大安價に差上げます
御出桑の節は是非御來店を願ます

桑港ポスト街一四三七
電話ウエスト八六五〇

●遠呈

吉里寫眞館

和洋雜貨、時計、寶石類、煙草

財滿商會

桑港グリー街一五一五
電話ウエスト九三九二

佛事用

御菓子調進所　勉強堂製菓會社

桑港グリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

祝儀用

（鶴の子餅、御加增餅、丸餅、御赤飯、模樣入煉羊羹、模樣入カステラ、彩色入打物、落雁）

其他三ツ盛、五ツ盛、引菓子、命名紙、煙草

祝に限姓名入羊羹麗に調進し又

季節向

（立田野饅頭、白飯、引菓子、模樣入煉羊羹、彩色入打物、落雁、其他勝部口取）

御菓子調進所　勉強堂製菓會社

桑港グリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

桑港フィルモア街一六三三
電話ウエスト六三六〇

原田寫眞館

（ポストとグリー間）

桑港ポスト街一七二二
電話ウエスト一三二九

自由公園

貸金

貴金屬品
寶石類勉强
フィルモア街一六四〇

質店

桑港ポスト街一七二七
電話ウエスト一三二九

御祝御佛事用

長崎名物カステラ特製
御菓子司　花月堂

桑港ポスト街一七三二　電話ウエスト六三二

懸値無

金剛石時計貴金屬
寶石總て最上等品
フィルモア（ポスト角）
シグマンド寶石店
FILLMORE AT POST.

紳士淑女子供乘用靴一切

特別勉强

浦川靴店

桑港ポスト街一七一七
電話ウエスト一三二九

門本人間

グリー街一五〇九

谷靴店

販賣部
修繕部

大勉强

斬新
流行

桑港ブキャナン街一七一五
電話ウエスト四〇三七

太田永太郎

桑港ブキャナン街一七一五
電話ウエスト四〇三七

シンガーミシン特價販賣

一日十仙　たやすく買へます

シンガーミシン

御一報次第見本持參
桑港ブキャナン街一四三七
電話フィルモア二八七

みとま

精肉切賣

すき燒

並に

ブキャナン街一四三七
電話ウエスト一六三七

博多屋

ホワイト裁縫ミシン特約販賣店

桑港グリー街一六〇五—九

家具

桑港グリー街一六〇五—九

電話ウエスト四三二七

宮崎家具商會

病者の爲

信頼の出來る醫師、血液檢査所及びX光線部の紹介を通譯をなし病者の相談に應ず
桑港ラグナ街一四三二　救世軍顧問
電話ウエスト六〇八二　醫事部
同（ムロック街五二五　電話フィルモア六一八

古庄弘

桑港ポスト街一七二七
電話ウエスト一三二九

大勉强

販賣部
修繕部

谷靴店

桑港ポスト街一七一七
電話ウエスト一三二九

大勉强

浦川靴店

桑港ブキャナン街一七一五
電話ウエスト四〇三七

太田永太郎

桑港ブキャナン街一七一五
電話ウエスト四〇三七

夜間電話
バレフィルモア八四八一

タムラ藥舗

和洋賣藥並に男女用品一切
帝國醫師の御申越次第差上ます

TAMURA YAKUHO, 1708 Buchanan St., S. F. Cla.

T. Okawara, Hearst Building San Francisco, Tel. Sutter 3127

大河原法律事務所

生理的病害の一種

●アップル

害虫微菌の寄生に依らず水分の過多と氣候の激變

▼ウオーター・コーア▲ アップルの生理的病害の一種に俗名Water core と呼ばるゝものある其徴候は時に果實の外皮からでも明らかなる事もあるが多く果實を切り割つた時果肉内部が半透明に見る水分が他の部分より多く含有せられて居り非常に固い事に依つて知られる。

▼異常 である爲めに販賣用には喜ばれ無い此病害發生地方は世界到る所に蔓延して居ると云ふが最も多いのは半乾燥地帶である病害の進むに連れ遂には果實の心迄犯され腐敗はし無いが水氣が非常に多くなる事其名の示す如くである其病名は徴候の示す所から來たであらうが病因に到つては今の所に判然しない然し事實に於いて患部は水分が普通以上に多い事實から推察してアップルの生成期中に水分の供給が餘りに多いから起るであらうと農務省の專門學者等は稱へる然し土壌に一時水分が多くなつても果樹が吸収すると共に氣候が暑く葉面細胞から直ちに蒸發し得るまゝすれば 果實の細胞に何等異變を來さぬ譯であるが若し氣候が日夜に拘はらず俄に寒冷なる所が無くなると强烈なる壓力は何所か抵抗力の最も弱い所に自然に水分を多量に押し込む果實の心の附近の細胞は柔弱であるから以上の場合には常に過剰の水分に犯される

▼勢力 の旺盛なる若き果樹等は絶ての器能が極度に活動して居るから水分吸取力も强く果樹組織内に比較的に多量の水を含有して居る故氣候の激變あると共に此ウオーター・コーアに犯され易い其反對に弱々しい果樹に水餘り見られない土壌水分含有量が一時に多く灌漑水に依つて供給せられ

▼書間 が温暖なるに反し夜が急に寒冷になれば此病害が發生するは新作者の注意した所であらうが而し最も其害を蒙り易いのは枝の先の大氣に曝露せらるる部分に多い尚何か他の害虫に依つて葉が凋落すると水分の蒸發面積が減るからウオーターコーアのアップルが多い其豫防法としては

▼灌漑 する畑をれば果實の成熟する直ぐ前などには餘りに多量の給水を避け排水を良好にしプルーニングは夏期を避けて冬期に行ふスプレーを實行して害虫を驅除し果樹の發育をよくして多數の葉の發生を助け果實は摘採期を誤らずに仕事し摘採後は直ちに貯藏室に入れる原因は寄生に依らぬから傳播の危險が無い

●農業組合の利益と困難(一)

犧牲を拂ふ覺悟

農産物が思ふ樣に販賣の出來難い今年の如き年には農家の方でも眞面目になつて仲買人の横暴を攻撃しそれに聯驛して農業組合の組織談等が頻りに持ち出されると吾々も農業家自營策として有力なる農家組合の組織され農業用諸物品の購買と生産物販賣を掌つて農家の利益を保護せんとする事を頻りに

▼希望 するものである此農業組合組織について今迄の同胞の經驗から來た注意事項を記憶かも呼び起して見たい組合を組織し必要品を共同して購買し生産物を一緒にして賣れば何の困難もなく多大の利益を忽ちに得らるゝものと先覺して組織の任に當る人も又それに賛成する人も共に

▼高唱 するが此點は後に到つて不平の焦點となり易い組合無くしても自由競爭で今現に都會と地方の別なく普通商店では出來る丈物品を安價に取扱つて信用を得て其商店の繁盛を願ひつゝある故に多年の經驗を持つ普通商店と競爭の地位に立つて必要品を共同購買せんとし餘り商業に

▲經驗 の無い地方農家が組合として計畫しても或特種の品物以外そう大した利益を容易に得らるゝものでは無い然し實際は組合事業に經驗のない人々は組合組織の利益として歓ふに此共同購買に依つて何品に限らず安く買ひ得ると吹聽する、實際やつて見ると費用のみ多くかゝつて豫期の

▼成績 は實現し難く遂に組合員が不平の聲を洩らして仕末に終へない事になる

●天使島抑留者一名 サイベリヤ丸にて渡米の同胞にて天使島に抑留中の竹田三郎は昨日上陸許可され平本德平は父の出迎を待ちつゝあり

●南部のスピニチ カネー平原地方スピニチ耕作面積は約千五百英加に達し出荷氷蔵貨車四百を要すべく箱詰には氷を用ひて輸送途中の腐敗を防ぐべく出荷期は十二月上旬頃なるも

金曜日の桑港市場(十一月十九日)

降雨と出荷

▲降雨の影響 引續き降雨あり昨今野菜物の出荷減じたる為め品質一般に宜しからず

▲セロリ安値 降雨なるに拘らず昨今セロリの収穫多く市場に多量出荷あり本日の如き殆んど行詰まりの狀態を示めし市價も安値迄に伸縮して尠なく

▲セロリ過剰 從て需要之れに伴はず從つて需要の如く出荷多量に成り動き極めて尠なく

▲レタス出荷 華村地方よりレタスの出荷多し未だセロリの如く出荷多量には非るも

▲マシルーム多し 降雨の爲めマシルームの生育旺盛なる昨今其出荷激増したるが本日の如き大小各種箱入もの多量出荷されたる爲め市價暴落し斯る品物は俄に出荷増すとも需要之れに伴ふものに非らず賣行き

▲ピース高値 本日ピース出荷殖わしも値段は高く一封度十七仙半以上唱へたり

果物類

◎現代(十一月號) 愛(谷本富)石と雪(慶三)定雄(馬)信仰神秘(山室軍平)其他(後藤)多し

◎我等(十一月號) 排日の根本解決難(我等)クロポトキンの相互扶助論(馬戸長)

◎越 大隈侯の排日問題論

◎對米軟外交か硬外交か(十一月號) 女子教育の社會化に關する諸家の意見其他

◎婦人公論(十一月號) 如と小實相論

◎實業の日本(十一月號) 實業の意見福報 燃料研究問題

◎武俠世界(十一月號) 等の意見福報

◎伊太利に於ける米國赤十字活動物語

◎ベーカル氏の著書にて面白く米國赤十字の活動振りを紹介定價二弗(ベーカル會社寄贈)

雜記帳

十八日(木)晴 昨日晴雲君が書いた樣に寒庭の杉が一年毎に延びて行く、妙なもだ、晴雲君が社に來て行く、嬉しい。

盤々七分三に綺麗に分れた美しい結顔の音年であつたが今は寒々な迎(家庭の主)となり可愛らしい男の兒し出來てそれが日に月に成長して居る、そして夫れ丈周君も親新顔にあつて早や中老の樣な感つつ、なく滑らいの早や中老の樣なつて了つた、彼れも之れも自然といふもの不思議はふかしらう。

「月々に玩具も大き市民也」

〔七四〕花の繪島

青々園

ヨハンは覺束なげな詞で途切れ〳〵に語つた

『此の御國へジウスの敎へが入つてから、其れを一番始めに妨げたは太閤樣でした、しかし太閤樣は自分の家來が切支丹になつた事を許し置くほどの度量があつたやうです、ジウアン小西でも、ヂユード右近どのでも、皆ジウスの敎へを守つた御秀忠さまでしたが、次ぎの家光さまになつてから又迫害が始まりました、島原で戰の起つたのも其の爲めでした、日本の切支丹は燒殺されたり突殺されたりして全く根だやしになつてしまひました、それが德川さまのジウスに敎へになれば恐ろしい仕事でした、ジウスは乞丐も大眼に見て居ました、それはした、そうして切支丹の迫害が一層ひどくなりました、其の時のひどくらしい仕置は私達の宗門に害附となつて本國に殘つて居ます、五十餘人の切支丹が都で火あぶりになつたのも其の時でした、長崎や大村では磔にあつたやうです、ジウアン小西切支丹が數へきれぬほどありましたが、其ういふ迫害をした將軍とは考へなくなります、其の代りに從しない事が出來て來ます、そうして德川さまは將軍で居られなくなります、『つまり御當家が滅亡するの喜びなのです』

『いや、其うではありません、其の時には將軍さまの家來に賞めた

ヨハンといふ私を御國へよこして再び敎へを廣めるまで爲めでした、私の願ひは許されませんでした、そうして此の通り囚はれの身となりました、私が囚はれた年に綱吉さまの家くなつたのがジウスの捌きが開かれる始めでした、そうして綱吉さまの次ぎに家宣さまが早くなくなりました、家宣さまの次ぎに今の將軍さまが屹度早くなくなります、それはジウスの捌きによつて其うなるのです』

ヨハンは斯う云つて再び底光りのする眼で空を仰いだ

『其の先きには不仕合は深山つづきます、將軍さまの早く死ぬことは考へなくなります、其の代りに御國の人たちが將軍さまに服從しない事が出來て來ます、そうして德川さまは將軍で居られなくなります』

『つまり御當家が滅亡するの喜びなのです』

ヨハンが尋ねた

『いや、其うではありません、其の時には將軍さまの家來に賞

ヨハンといふ私を御國へよこして再び敎へを廣めるまで爲めでした、私の願ひは許されませんでした、そうして此の通り囚はれの身となりました、私が囚はれた年に綱吉さまの家くなつたのがジウスの捌きが開かれる始めでした、そうして綱吉さまの次ぎに家宣さまが早くなくなりました、家宣さまの次ぎに今の將軍さまが屹度早くなくなります、それはジウスの捌きによつて其うなるのです』

ヨハンは斯う云つて再び底光りのする眼で空を仰いだ

『其の先きには不仕合は深山つづきます、將軍さまの早く死ぬことは考へなくなります、其の代りに御國の人たちが將軍さまに服從しない事が出來て來ます、そうして德川さまは將軍で居られなくなります』

『つまり御當家が滅亡するの喜びなのです』

ヨハンが尋ねた

『いや、其うではありません、其の時には將軍さまの家來に賞

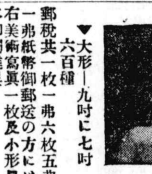
繪島も交竹院も喜び院も醉はされ其やうな心地で其れを聽いた

『して、左樣な末來のことが、何うして其處許に分るであらう』

『それは天に居ませる神ジウスが私に敎へたのです、此の世の中に一つとしてジウスの知らないことはない、ジウスの思召しに服しないものはありません、ですから、心に惱みある者はジウスの惠に御すがりなさい、ジウスは乞丐それを直して下さるのです』

其ういひながら、繪島の方へ注いだヨハンの眸を繪島は不思議な物を見るようにジッと見詰めた

▼大形—九吋に七吋 六百種



ORIENTAL ART STUDIO
G. P. O. Box 312
New York City

米國一流のモデル を集めたる美術裸體寫眞

肥料 有効窒素 各種販賣 小林商會

水晶印形專門 甲州産 1311 Eddy St. San Francisco, Cal.

MAIL'S SHOE STORE
是非日本人の御來店を希望す
男子 婦人 小供 靴
桑港フキルモア街一七〇—一七〇三 (ポストの角)
メール靴店

日本郵船 東洋汽船 各株券現物賣出 大阪商船 株式會社
最高値 現時 三六八圓 一四〇圓 一六〇圓 四〇圓 二二五圓 七〇圓
合同談進行中 早晩大暴騰 其筋の奬勵により 今が買入の最好時機なり 至急申込乞ふ
保證投資株式會社 株式課
Guaranty Investment Co. (Inc.)
309 First National Bank Bldg. P. O. Box 74 Berkeley, Calif. Tel. Berkeley, 2377

物洋食料品雜貨商 株式會社 新亞細亞商會
桑港ポスト街一六五九 電話フィルモア二七九三

●尺八 桑港ブキャナン街一七三一 かすみ會 1731 Buchanan St., S. F., Calif.

日本人に親切な公證人 A. K. DAGGETT 代言人 事務所 電話 Douglas 40 30 Montgomery St., S. F.

男女醫學博士 丁卓生 女子醫 靜梅氏 內外科、婦人科一切領脚惡疾 月經不順及一切有形惡症 桑港スタクトン街一〇四九 1049 Stockton St., S. F. Cal.

◎註文せよ◎ 大正九年度の新種子物を 代價表は御申越次第無代進呈 種子物原產地加州ホリスター 山中丈吉(園主) Hollister Seed Co. Rt. 2 Box 112 Hollister, Calif. U. S. A.

洗濯所用諸機械 ワシヤフ、リンガ、ストウブ ベルト一切新及古物安價販賣 デヨン・ダブリウ・リー、 1456 Mission St., S. F. Tel. Market 78

●金の代用になる 此廣告を切抜き金五仙封入住所姓名を明記し Foley Co. 2835 Sheffield Ave. Chicago, Ill. へ送附すればフォレー・パニー・ターミ・キドニー錠とキヤサラク錠を送いふ感冒の妙藥と傳無質斯の云ふ下劑を無料進呈する處藥店で販賣 (十一の一)

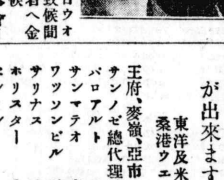
◎皮膚病專門男女症難全治保證 診價廉總て日本文にて宜敷候 通察時間自午前十時至午後九時 醫學博士 劉日初 桑港グラント街五〇二 Dr. LOU YIT-CHO

HOTEL FUJI 423 Maynard Ave. Seattle Wash.

妻君御親族御朋輩御呼寄の際は前以て御通知被下度へば上陸に關し必要なる事項早速御返事可申上候 シヤトル市メーナード街四二三 藤井旅館

右三人の者は去る八月十三日ウオーナツグローブより出奔致候間潛伏所御通知被下候先着者へ金五十弗の懸賞金贈呈可仕候 懸賞搜索廣告 原籍 遠島 愛知縣海部郡七寶村大字 同 竹田生一 三十三歲 身長五尺一寸右齒二本無く上唇厚し 同縣同郡同村大字伊福 同 安達きやふ 二十三歲 瘠形右の鼻先に黑點のほくろあり左目眦に壓傷五分の痕

懸賞五十弗



櫻府愛知縣人會 1309-5th St., Sacramento, Cal.

十葉縣人吉田寅之助 儀十六日死去仕候間此段生前辱知諸君に謹告仕候 追て葬儀は來る廿日午後三時三十分東王府第十四街二三七二ミラーグラント葬儀所にて執行可仕候 十一月十九日 王府 林傳 友人 高垣龜太郎 外 駒井英太郎 同 吉一郎

故 末田正人の儀逝去 遠路態々御會葬被下且つ多分の御香料生花等御贈與に預り御厚情の程奉謝候 中午路儀以紙上御禮申述候 十一月十七日 リードレー 妻 末田イシ 長女 同小ヨネ 義兄 倉本兵市 外 友人一同

御禮廣告

ROTARY GROCERY CO. 1434 HAIGHT ST. CONSUMERS MARKET Phone 1524 THE FRIEND

土曜日(二十日)の特價

純白ケーン砂糖五斤 五十仙

デルモント核無干葡萄 一ク
クラスター干葡萄 二斤
デルモント鑵入コーン 三鑵
同アスパラガス 三鑵
同パイナップル 八十七仙
同ピーチ 八十五仙
同 二十五仙 四十五仙
同 四十五仙
同 四十五仙
ミンスミート大ヂャー入 六十五仙
同 リビス大ヂャー入 六十五仙
同 箱入 四十六仙
リビス プラム 四十五仙
フイグ プデング 四十三仙
ウオルナツ 九十五仙
ブラジル ナツツ 九十九仙
ヘーズル ナツツ 七十九仙
ソフトセル アモンズ 三斤
混合 ナツツ 三斤
プラチス チヨコレート 八十五仙
タリスマス キヤンデー 四十五仙
ウエルチス ミキツス 廿五仙
アイルトン ペイント 一斤
マニラ シガー 廿五本
キヤメル 十箱 一弗五十八仙

フキルモアー街一四五二—五八 ロータリー・グロサリー オツファレール街角

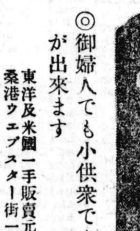
桑港旅館組合船客送迎事務所 406 Pacific St., S. F. 電話ドグラス三一七九四

火事だ、火事だ

ヘレツプ！ヘレツプ！

と騷ぐ婦人や小供の悲鳴に驚かされて戸外に飛出して見ると白人住宅の二階から既に火焔をブー〳〵とはき出してゐました 原因は小形石油ランプを覆へした爲ださうです

◎斯かる場合僅か四斤餘りの輕便なウエルドン自動消火器さへあれば



◎御婦人でも小供衆でも立ち處に鎭火する事が出來ます

東洋及米國一手販賣元 桑港ウエブスター街一五六二 三德商會

▲販賣御希望の方は御申越順により御相談に應じます

王府、麥嶺、亞市 池田貫道商店 ダイニューパ 山本商店
サンノゼ總代理沖田商店 ホルト 新藤商店
パロアルト 佐藤商店 パカビル A.B.C.商會
サンマテオ 高橋商店 スタクトン 錦帶堂
ワツツンビル 神垣商店 ウレシー 硅商會
サリナス 遠藤商店 サクラメント 藤江商店
ホリスター 神垣商店 フレスノ 伊達商店
ペンリン 中央貿易商店 ウラーナツグローブ 友岡商店
フロリン 大力商會 ファーラー 坂本商店
コルサ 谷川商店 パリーヤ 小國商店
メリスビル 中川商店 デルレー 松尾商店
リーダイ 中村商會 セルマ 伊藤商店
羅府 宮島商店 パイゼリア 野澤商店
オクスナード すみ田商店 サンタババラ 福島商店
日本商店 サンルイスオビスポ 黑川商店

サクラメント(二五四)熊本屋 カキー二七九
サクラメント(二四八七)山口屋 カキー二四八七
サクラメント(一七一三)福岡屋 カキー二七一三
アツカテ(二五一一)日本ホテル
フルトン(二四八)日米ホテル
アキヤナン(二四〇)富士玉城館
サクラメント(二四〇)北米旅館
バツフイアク(二四〇)田村旅館
ゲーフイルド(二三九)近江屋旅館
サクラメント(一〇九)加州ホテル
ダグラス(一〇三)名古屋ホテル
ポスト街(一七五九)海屋
フイルモア(二四〇)
ゲーリー街(五一三)
サクラメント(一〇九)井木旅館
電話ドグラス(二四〇)防長旅館
サクラメント(一〇九)
ポスト街(一七五九)
ゲーリー街(五一三)
サクラメント(一〇九)永本旅館
ポスト街(六五一)
サクラメント(一〇九)安藝ホテル
ポスト街(六六一)
サクラメント(一〇九)紀の國屋
ポスト街(七三四)
サクラメント(一〇九)ミカドホテル
ポスト街(一九九一)
サクラメント(一〇九)エビスホテル
ポスト街(一六三二)
サクラメント(一〇九)廣島屋
ポスト街(八四八)

FOR AMITY BETWEEN
AMERICANS AND JAPANESE

The Japanese American News

ENGLISH SUPPLEMENT
SATURDAY, NOVEMBER 20, 1920 No. 7550

Ownership of Land by Foreigners in Japan.

The proposed Japanese law to permit ownership of land by foreigners and California's alien land law were discussed in Japanese by The Japanese American News on November 15. The following is a free translation:

WE have said several times that during the coming session of the Japanese Diet, which will be convened December 25, a bill to provide for land ownership by aliens will be introduced. This bill was presented at the last session of the Diet, but the Diet was dissolved in the midst of the session and the bill was not ratified by the House. It provides that foreigners, excepting in military zones and other specifically designated localities, shall have the right to own, utilize and dispose of land.

This right shall be reciprocal. That is, it shall be accorded to those foreigners whose countries vouchsafe the right to own land and other property to Japanese. This right, of course, is extended to land ownership in Japan's possessions.

Such a bill long ago was promulgated and should have taken effect, but for some reason which we cannot understand it is not in operation. It may be too late to introduce the new bill to the Diet, but, even so, it is better late than never.

We congratulate Japan, for the sake of her honor among nations, on the consideration of this bill.

So far as Japan's existing laws are concerned, aliens individually are not allowed to own land. Foreigners in Japan have experienced great inconvenience on account of this. But, while Japan has prohibited land ownership by aliens, this was interpreted, to a certain extent, to mean that Japan excluded foreigners. This caused an anti-Japanese sentiment. For example, in 1913, when the California Legislature was trying to enact a land law, and also when Californians planned to pass amendment No. 1 this year, it was said Japan does not permit foreigners to own land. Therefore, it was reasoned, it was right that California should prohibit land ownership by Japanese. This creed of the politicians, it would appear, was accepted by an unenlightened public.

There can be no appropriate analogy between California and Japan, for California has a much greater area than Japan which is not under cultivation; and yet California is so sparsely populated that its people can hardly cultivate all untilled areas. On the other hand, Japan is so densely populated, and its cultivable areas so limited, that today most of its available cultivable areas are undergoing intense husbandry. Yet Japan feels that more and more land is needed for her own subjects.

In Japan no foreigner is allowed to own land, but he is allowed to lease land. The right to lease land extends over a period of ninety-nine years, so that it makes little substantial difference whether a man owns land in Japan or merely leases it. The act of California would abolish even the right to lease land to Japanese. Therefore, the Japanese restriction is not comparable with the California restriction.

Curiously enough, these facts are not made known to the general public. Great emphasis is placed on the fact that Japan will not allow foreigners to own land, which causes foreigners, particularly Californians, to think their action is reciprocal of Japan's acts.

Practically speaking, this is a hindrance to the expansion of Japanese in foreign countries. It is necessary, therefore, to set forth in her laws that all foreigners will be treated in an open-handed manner in the matter of land ownership, although certain limitations or restrictions are necessary, in regard to military areas and the like.

When the right to own land in Japan shall be granted to foreigners it does not follow that foreigners shall have the right to buy great areas in Japan. It means they shall have the right to buy lands for the purpose of establishing schools, residences, factory sites, summer resorts, gardens and the like. The right certainly is not intended to be extended to agriculture, forestry, mineral lands.

Viewed from a purely economic standpoint, there are wide fields in South America, Australia, China, Siberia and other places where money may be invested in lands and other things. So why should foreigners wish to buy Japanese soil, by no means rich and comparatively high priced?

Conceiving the situation in that light, we cannot understand why the land ownership bill passed by Japan ten years ago has never become effective.

We trust that at the coming session of the Diet both Houses will pass the bill unanimously and make it effective at once.

Incidentally the bill, of course, is reciprocal. That is to say, any country which does not permit Japanese to own land will find its citizens or subjects shall not be permitted to hold land in Japan. In the case of a nation like the United States, where every state has the right to enact its own laws, Japan perhaps will accord different treatment to different states.

As for the California law of 1913 and Amendment No. 1 of this year, it has frequently been reported that the Washington and Japanese governments are negotiating with a view to adopting a new treaty that would make null and void the anti-Japanese laws of California. But if the treaty shall not make such provision, Japan may be expected to discriminate against Californians in the matter of land leasing and other things—which things are being done today by California to Japanese.

This discrimination by the state, though it is done in accordance with law, may not be effective, for if a Californian wished to buy land in Japan he would perhaps register as a resident of some other state. It therefore can be seen that the regulation would be without force and effect.

This would give rise to situations and practices which would have a bad influence upon the Japanese in California. We hope, therefore, that, somehow, something can be done regarding the land law of California and that a harmonious solution of the difficulty may be reached before Japan's enactment of a land ownership bill.

Rumor Harvest Time.

The following is a free translation of an editorial in Japanese, published in this newspaper last Tuesday:

AMERICAN newspapers are publishing exaggerated reports about the "hordes" of Japanese who are returning to Japan because they have been discouraged by the passage of the alien land law, or are anticipating a Japanese-American war, and are taking with them gold made in California, amounting, on a single voyage of the Siberia Maru, to the huge sum of $10,000,000. The reports dwell on the grouped activities of the emigrants. They see in this movement a determination to be married in Japan and bring Japanese wives to this country.

American press agents are sending these stories to all parts of the United States. The task is too great to take up each and every one of these stories and explain or correct them all. Yet misinformed persons might bring about a grave misunderstanding, basing their arguments on erroneous reports. For that reason we offer an explanation of some of the stories.

It has been the custom of Japanese farmers in California, ever since they began coming to this state, to visit their homes after the crops have been harvested and before it is time to begin planting again. This exodus to the Orient is no new movement launched this year. The prices of farm products have been especially high during the past three or four years and Japanese farmers have been prosperous. But, looking into the future, they see conditions won't be the same as they have been in the past, and therefore they are anxious to visit the homeland while they may.

Another thing, a line of Japanese steamships has been opened between Los Angeles and Portland and the Orient. It is because it is more convenient for Japanese residing at those points to make trips to Japan and less expensive to go from one of those ports that Japanese have been embracing the opportunity to sail from Los Angeles and Portland.

Many more Japanese than in former years wish to visit Japan. It is not only the Japanese in California who are not thankful for the new land law, but Japanese in other states as well. The Japanese at home—and many Americans here—think the measure was not justified.

Discussing the land law, the New York World of recent date said that Californians are lacking in the idea of national responsibility and challenged Japan at the ballot box.

That editorial leads us to deduct that the act was contrary to all American sense of fair play.

It is unnecessary for us to reiterate that the result is far from satisfactory to Japanese in California. But at the same time we are not such a weak-minded people as to throw away the fruits of many years of hard labor and return to the homeland. We still have hopes in the future and are trying to create better opportunities for ourselves.

When Japanese make trips to Japan they naturally take their earnings with them. But the report that returning Japanese took $10,000,000 with them on one voyage of the Siberia Maru is entirely erroneous. When one considers the Japanese-American exchange rate it is natural that American gold should be shipped to Japan. Considering the amount of the treasure in gold Japan has in the United States, a shipment of $10,000,000 or even $20,000,000 is nothing to question.

WHEN THIS OLD WORLD WAS YOUNG.

(Continued from last Saturday.)

PRINCE Ishizukuri pondered long and long about making a journey to far Tenjiku in search of the Lord Buddha's begging bowl. It would take a long time, reasoned the prince; it would be a hazardous undertaking; and, finally, it would be futile. It would be easier, he concluded, to counterfeit the sacred bowl.

Having arrived at this conclusion the prince laid his plans cunningly and took pains that the Lady Kaguya was told that he had actually sallied forth on his journey. But, as a matter of fact, he hid in Yamato for three years. At the conclusion of that time he discovered in a hill monastery in Tochi a bowl of extreme age resting upon an altar of Binzuru (the Succorer in Sickness). He seized the bowl, wrapped it in precious brocade and attached to the gift a branch of artificial blossoms.

When the Lady Kaguya examined the bowl she found within it a scroll with the following verses:

"Over seas, over hills
hath thy servant fared, and weary
and wayworn he perisheth;
Oh, what tears hath cost this bowl of stone,
What floods of streaming tears!"

But no hallowed light shone forth from this vessel and the Lady Kaguya knew at once that it had never been property of Lord Buddha's. So she returned the bowl to Prince Ishizukuri with the following verses:

"Of the hanging dewdrop
not even the passing sheen
dwells herein;
On the Hill of Darkness, the Hill of Ogura.
What couldst thou hope to find?"

The prince threw away the bowl and sought to turn the remonstrance into a compliment to the lady who wrote it:

"Nay, on the Hill of Brightness
what splendor
will not pale?
Would that away from the light of thy beauty
the sheen of yonder bowl might prove me true!"

It was nicely turned, considering that the suitor who wrote it was a humbug. Lady Kaguya tore up his latest effusion, and the prince sadly departed.

ANOTHER WILY SUITOR.

Equally wily was Prince Kuramochi. He caused it to be noised about that he was setting out on a journey to the land of Tsukushi in quest of the famous Jewel-Bearing Branch. Instead, he employed sixteen men of the Uchimaros, celebrated craftsmen, and rented for them a dwelling in an isolated locality, where he himself lived, for the purpose of instructing the craftsmen how they were to fashion a Jewel-Bearing Branch identical with the one described by the Lady Kaguya.

When at length the branch was finished he set out to wait on the Lady Kaguya. Attached to the gift was the following:

"Though it were at the peril
of my very life,
Without the Jewel-laden Branch
in my hands never again
would I have dared to return!"

Looking sadly upon this glittering counterfeit, the Lady Kaguya listened without interest to the prince's recital of his adventures, fabrfcated on the spot. He dwelt upon the terrors of the sea, strange monsters, gnawing hunger, disease, and assured the lady these were the ordeals through which he had passed for her sweet sake. Then he went on to describe a high mountain rising out of the sea and said he had approached this pile and had been greeted by a woman fairer than day who bore a silver pitcher which she filled with water. There were wonderful flowers and trees on this mountain, and a rainbow hued stream, yellow as gold, white as silver, blue as precious *ruri* (lapis lazuli); and the stream was spanned by bridges constructed of myriads of gems, and beside this stream grew trees scintillating with dazzling jewels. From one of these trees, the prince declared, he broke off the branch which he had brought home to the gracious Lady Kaguya in conformity with her request.

Lady Kaguya gave signs of believing this circumstantial tale. But, at the very moment Prince Kuramochi was completing it, six craftsmen appeared on the scene and loudly demanded payment for the fabricated Jewel-Bearing Branch. His treachery exposed, the prince beat a hasty and none too dignified retreat. Happy to escape a perfidious lover so easily, the Lady Kaguya herself paid off the craftsmen.

(Continued next Saturday.)

CONFUCIANISMS.

THE Master said: "The rude tribes of the East and North have their princes, and are not like the states of our great land which are without them."

* * *

THE chief of the Ke family was about to sacrifice to the T'ae mountain. The Master said to Yenyew: "Can you not save him from this?" He answered: "I cannot." Confucius said: "Alas! will you say that the T'ae mountain is not so discerning as Lin Fang?"

* * *

THE Master said: "The student of virtue has no contentions. If it be said he cannot avoid them, shall this be archery? But he bows complaisantly to his competitors; thus he ascends the hall, descends, and exacts the forfeit of drinking. In his contention, he is still the Keun-tsze."

* * *

TSZE-HEA asked: "What is the meaning of the passage, 'The pretty dimples of her artful smile! The well defined black and white of her eye! The plain ground for the colors?'" The Master said: "The business of laying on the colors follows the preparation of the plain ground." The Master said: "It is Shang who can bring out my meaning! Now I can begin to talk about the odes with him."

* * *

THE Master said: "I am able to describe the ceremonies of the Hea dynasty, but Ke cannot sufficiently attest my words. I am able to describe the ceremonies of the Yin dynasty, but Sung cannot sufficiently attest my words. They cannot do so because of the insufficiency of their records and wise men. If those were sufficient, I could adduce them in support of my words."

* * *

SOMEONE asked the meaning of the great sacrifice. The Master said: "I do not know. He who knew its meaning would find it as easy to govern the empire as to look on this"—pointing to his palm.

The concern and misunderstanding expressed on account of the action of Japanese in pooling their interests were imaginary evils. Japanese travel in bodies because it is less expensive and easier for them to make their reservations.

These men returning to Japan, of course, may marry, but there is nothing unusual in that. Returning alone to Japan, a man certainly has the right to marry if he so desires.

We hope that the Japanophobes, always complaining about Japanese marriages, will consider humanity; also, how society is maintained, stabilized and increased.

From the Drama of Ki-no-Kaion.

UNOHA'S brother, Chikatada, and several of his retainers, hearing the screams of the maiden and the shouts for help, rushed to the scene. Seeing his sister's lifeless body, Chikatada was at a loss to think who the murderer might be. Frantic with grief, he rushed about the yard in search of the heartless wretch, and, finding Arihira standing by the wall, trembling with emotion, he concluded this man must be the assassin. Drawing his sword he rushed on the nobleman, crying:

"Accursed coward! You shall taste the sharpness and the bitterness of my blade, which craves revenge."

Startled by the turn affairs had taken, Arihira pleaded innocence and told what he had seen while hiding in the tree. But Chikatada was too excited to listen to explanations. At that moment Sadakage, chief retainer to Lord Arihira, rushed up with a plea for his master.

"Your sorrow is the most natural thing in the world," he declared, "but my master is not guilty of this infamous charge of murder. I beg of you to place his life in my hands for three days. Within that time I shall find and deliver the murderer to you, if you will be so good as to grant my request."

At this moment Yoshizane, father of Komachi, arrived and declared Lord Arihira was a man of such honor and refinement that it would have been impossible for him to have killed a young maiden. He prevailed upon Chikatada to comply with Sadakage's request. In doing so he warned Sadakage that if the real culprit was not produced within the period stipulated he would take Arihira's life.

DROUGHT GRIPS LAND.

THE land for weeks had been in the grip of a severe drought. The earth was dry, cracked; rivers shriveled away; the rice and other crops were ruined. The Emperor and all his subjects prayed Heaven and Earth, the gods of the sea and the river, to send rain; but not a drop fell. A few days more of drought, and dread famine would stalk through the land.

The Emperor instructed his prime minister to induce the poets to offer verses to the god of rain. People believed, in those days, that a preeminently beautiful poem could move Heaven and Earth, the gods and evil spirits. A wonderfully beautiful poem would move Ryujin, the Dragon-god, to cause rain to fall immediately.

Complying with the imperial order, the prime minister summoned many poets to meet on the Hirozawa Pond, in which dwelt the Dragon-god. The minister presided, and the poet laureate, Ki-no Tsurayuki, acted as judge and declaimer. All who had won a certain amount of fame as versemakers, court nobles, high officials, samurai and ladies attended the meeting.

First to offer his poem was the haughty Kurinushi. With great respect the judge read it aloud. It proved a commonplace composition, both in words and sentiments; but Tsurayuki complimented it.

"I don't wish to appear conceited, friends," Kuronushi said, looking around triumphantly at all the poets, "but I am bound to say that I consider my poem a perfect example. Surely in virtue of it rain presently will fall. Pray behold the sky! Already it grows dark! Clouds gather! Have you ordered your servants to bring some protection against the rain, friends?"

The poets looked at one another with wry smiles. When Kuronushi had finished, Arihira's retainer, Sadakage, walked up to the poet and said brusquely:

POEM IS QUESTIONED.

"Excuse me, sir, but are you quite sure that poem is your own? I fancy it is an ancient one, isn't it, sir?"

"What insolence!" Kuronushi cried, flushing angrily. "Apologize to me at once, or you will not live another moment!"

"Then you are quite sure it is your own work, sir?"

"Whose else could it be, you insolent fellow?" Kuronushi demanded, his rage choking him.

By way of reply Sadakage beckoned to Chikatada and said: "I have no doubt in the world, my friend, that this same Kuronushi is the murderer of your sister Unoha."

On hearing these words Chikatada sprang at Kuronushi, crying: "Slayer of my sister! I never can forgive you the wrong done me!" He seized the poet by the throat.

Kuronushi turned deadly pale. "Your sister?" he gasped. "Nonsense! You must be mad!"

Commanding silence, the prime minister addressed Sadakage with great dignity.

"Did I understand you to say that Lord Kuronushi killed Chikatada's sister? That is strange! Can you substantiate this accusation?"

Sadakage answered, bowing to the minister: "We deserve punishment for disturbing this sacred meeting, Your Excellency, but our evidence, I feel, is indisputable. In truth, this crime was actuated by motives of jealousy in love. Lord Kuronushi killed Chikatada's sister in secret, intending to blame his rival, Lord Arihira, for the crime, in order to attain his base wishes. Upon examining the garments of the unfortunate maiden we found among them a poem on a piece of beautiful paper, evidently prepared for today's contest. I have it here, Your Excellency. It was our conclusion that the writer of this poem must be the murderer; therefore we expected to find him here today. The poem by Lord Kuronushi just read was exactly the same as the one we found in Unoha's clothing; therefore I have judged him to be the culprit. I hope Your Excellency is with me in my judgment."

PROOF IS POSITIVE.

Carefully the prime minister compared the two poems, found them to be word for word the same, not only in construction but also as to chirography. Greatly astonished, he declared it a heinous crime for a nobleman to slay in cold blood an innocent maiden, merely that he might charge another man with the act. Further, he declared he would report the matter to the Emperor, after which the criminal's punishment would be decided.

Kuronushi was turned over to the police and dragged away to prison.

The prime minister gave orders that the "poetry meeting" be continued. In rapid succession many poets offered their verses to the Dragon-god; but there was no rain.

All present, downcast with discouragement and disappointment, almost had given up hope when Lady Komachi gracefully walked forward and modestly offered her poem.

Scarcely had the poet laureate finished reading Lady Komachi's poem aloud when black clouds suddenly covered the sky from horizon to horizon. Rain began to descend in torrents. The prime minister made no effort to conceal his unbounded joy. He unstintedly praised the poetess, and declared she should be munificently rewarded by the Emperor.

The meeting closed, the prime minister hastened to the imperial palace to report to the Mikado.

(To be continued.)

MASAMUNE'S SWORDS.

By DR. E. A. STURGE

MASAMUNE hated pelf,
But he welded his ownself
Into every shining blade
That he made.
True as steel in which he wrought,
Pure as dew in every thought,
He impressed upon his art
His own heart.

Masamune's weapon's gleam
Like a flashing mountain stream,
While upon their edge a haze
Ever plays,
Making those who but behold
Shiver, for the blood runs cold,
Even in the warmest days,
When they gaze.

In the hands of sons of Mars
They will cut through iron bars,
Yet remain unnicked, unscarred,
Quite unmarred.
His of all swords are the best,
As is proved by every test,
That can possibly be made
Of a blade.

Stand a Masamune sword
In a brook, upon a ford,
Let the edge but slightly lean
'Gainst the stream;
Then a straw upon the tide
It will certainly divide
If it strikes the weapon true,
Into two.

JAPANESE PROVERBS.

It is time enough to cry oh! when you are hurt.

* * *

Learn not, know not.

* * *

It is well to take counsel of one's pillow.

* * *

It never smokes but there is a fire.

* * *

Judge not of men or things at first sight.

* * *

Keep thy shop, and thy shop will keep thee.

* * *

It is rash to sell the bird on the bough.

* * *

It is the bridle and spur that make a good horse.

* * *

Lean liberty is better than fat slavery.

HOW DO YOU DO? OUCH!

While Japan and the United States, the latter depicted by the Congressional Committee which recently visited the Orient, are seen to be exchanging courtesies and felicitations, the child is bothered by a pup, not any too playful. The child represents the people of Japan, the pup those of California.

A JAPANESE THANATOPSIS.

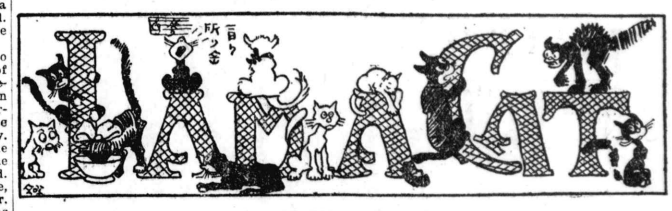
MORE than half the year already has gone. Autumn winds sweep the fields. All the colors which are destined to lose their brilliancy already have done so. The evergreens appear to be greener than ever. All the leaves predestined to fall each year already have descended to the earth. Sorrowful rains patter against lonesome doors.

Ah, a butterfly! It flies into my withered garden. I know not whence it came. Ah, innocent, tiny creature! Wandering here and there, everywhere, in search of a flower on which to rest, knowing not that the flowers already have withered; knowing not the end of thy life approaches.

How lonesome the shades of autumn! Transparent is the sky, and so clear, with never even a bird flying about. The universe is still, hushed, filled with solemn airs. All creatures seem to be sick at heart.

Autumn! This is the season for poet to weep; philosopher to think; ecclesiast to commune with Infinite Being; patriot to ponder the future of his country. This is the season for everyone to wash his unclean or impure heart, to be baptized by Nature.

Autumn holds great sorrow, but, at the same time, it offers great comfort; it teaches.



By SOSEKI NATSUME.

(Translated by a Japanese Schoolboy.)

THIS pine tree you know called as the suspending pine tree. It is said that there are so many pine trees there but when one comes to this particular pine tree one feels to suspend himself, so that there are two or even three who commit suicide here in this pine tree each year.

"If you see this tree you will realize how that tree is suitably extending its branches for the purpose of suspense. I am sure you will feel that it is not complete as a picture if you do not have some one hanging on the branch at least you will feel that you want to have somebody to drape there. I wanted to have some body but no one came unfortunately. So I began to feel that if no one would come it is better to try myself—but if I try myself it is of course dangerous, I must kill myself."

"While I am believing myself 'tis like dangerous to suspend ourself by tree's limb as it is surely to kill me, I chance to recollect to my memory Greek's story that, in order that to entertain guests in some sort of party, one endeavored to suspend hisself, with some special or maybe particular devices so that he could get away from sure-fire hanging; and, curiously enough, I began to think to myself if that thing can surely be said to be done it indeed is more interesting thing to be done, it is not to be scairt.

"So I thinks to myself it is better if I try it myself. I put my paddies on tree and experience quite thrilly sensation; furthermore it is more like artistics.

"I find myself overjoyed when I find that I fancied that I was suspending to a branch by this here pine tree that I have finally at great length decided to up and do it. But the thought that Mr. Kochi may have come to our house after I had departed out made me to think myself it is better to see him firstly, as he have such diligent regard to see me.

"Thus I have returned home to indulge some sort of talk by him and then would I go to suspend myself there by the neck until I am dead dead dead."

All foregoing was said by great friend of my master, not myself.

To this the dear master make to respond by articulating:

"Uh, what's the worth, anyhow?"

COLDMOON IS INTERESTED.

But Mr. Coldmoon appears like he is awful interested by all this conversation and repeat: "Indeed it is how interesting" and furthermore have exhibited some pecurior which is the characteristic this here man. The great frind of the good masters was still carrying on with his talks no difference whether anyone has pay him attentions or not, on he goes.

"When I got back home Kochi," he remarked further, "was not by any means there. There was a letter from him however instead by which he say that he has some other things to be done so that he was not at all able to call on me that day, and he make engagement he would call on me unmistakably some other days so that he can carry on converses with me.

"When I had perused of that there note I am really feeling relieved; I felt in this way or manner, well, oldtop, if he don't return back again I can go out some more and suspend myself having no trubbles at all that he would hinder my act. Here goes!

"I began to go for that place as rapidly as I ever can go and when I come outside the inside of my house—"

Here the great friend of the kind masters was estopped in this so critical moment and looked into the faces of the dear masters and Mr. Coldmoon. To this the master so good make articulate:

"Then what, hey?"

And Mr. Coldmoon he say:

"Well, indeed, it sure is beginning to sound like it might be quite if not very interesting," or some such remarks, and saying such he seems to be manipurating something in his the hands.

HE'S BEATEN TO IT.

"Well, then," the great friend of gentle master say, "when I am reached the place lo and behold! some one already suspended there before I am! Now think it is by a skin's breadth that I miss appointment with Madam Gallows, yes, I am just trifle late I really resentful about delay.

"But to imagine this here incidents by this time I can easily make myself to think I was captured by some deity of death by this time. Psychologist may have something to expectorate on this here case I don't know but for my parts it is really quite mysterious things indeedy—it is quite wanderful—"

Relating this story the friend of sweet masters was not bit worked up he is so calm as usually.

As for sweet patootie masters he has shown himself by some expression that he is fooled of this man again and eating some cakes putting in mouthfully. Mr. Coldmoons was trieing to exterminate coals in stove and rather seeming to bow by floor and smiling like his custom. After a while he seemed to be saying something so solemnly:

"It is really wanderful experience, all right, and mysterious enough, all right, and it is very probably circumstance I should say. Yes, there are pretty space of PROBABILITY in that there story. I make no doubt for little moment about that same experiences as I myself already have had the same happanstance rather very recent."

This undoubtedly appeared like it appealed to curiocity of sweet masters, who surprisingly said:

"Why, my lan'! Did you want to suspend yourself too?"

To this great excitements of impetuous masters Mr. Coldmoon make repry so calm like:

THE CASE OF COLDMOON.

"No, it ain't so. My own sad case was a little different than that by suspending of Mr. Meitei (the great friend of the sweets master). But interesting parts of it is that that experience which I personally myself had occurred in just the same season—that is to speak it was at end of year and only differences were, mine ain't last year but year even before that.

"But I tell you, it happened by same date and in same hours, it is in facts so striking that so many similarities are there that I commence to feel it's the real mystery."

Great friend of kindly masters was so pleased that he said:

"Yes, I'll tell the world, it really indeed is so interesting."

Saying such he eats the cake competitively with the sweets master.

"O, that day was some concert, I should implicate, which was meant to be the Endoftheyear," Mr. Coldmoon went on to comment, "and there were men of note and fashionable ladys and many of them was young lady I should remark, and I was to do a stunts with my violin; so I up and went there. It was beyond peradventure of all reasonable doubtings one great event and every things was going on so nice indeed.

"After dinner served and concert also at its finality and the peoples was talking all things in many groups, which was continued right up to late hour. As it was such late like hour I was thinking of myself to take departings, but before I said bye bye to hostees a lady who was wife to Professor Ex came by my side and asked me did I know this here Miss So-and-So was so sick.

HERE'S REAL NEWS.

"Of course I did not know of myself that she was so very sick as all that as I have viewed her about three weeks before and by that season she appears like she was healthy and having nothing trouble so far as could have been seen by me.

"I was so surprised if not shocked by this sudden news of her and I asked to this lady many things of Miss So-and-So as I seemed very anxious about her. To my dreadful surprise I learn by this lady that she began to be sick immediately after I have ceased to see her last. She has something like strong fevers or other and by that very reason she has been for some time past unconscious and making some remark which no one can by any means seem to understand.

"If that was the all it might have been all O. K., but I was told that she was saying out loud my names when she was delerious in her lack of consciousness."

To this tale of course dear masters make no saying which is quite discouraging and great friend of dear masters is also maintaining very quiet, against his usual habit to mix up anyone by saying anything at all discouraging. This time, if it is usual, he would have said it to him that she is in love by you, I congratulate you, my own dear kind good friend, or something, but he does not make to say anything at all. None of them were listening very diligently to his stoly.

(Mr. Coldmoon's mystical love stories is to be cont. at this point to next week Sattidy.)

ロスアンゼルス (十八日)

●會議所役員會
日本大使へ
希望決議

南加日本人商業會議所定期役員會は十七日夜八時より同會議室に於て開會し、出席者堀田書記長外理事評議員十五名幅田書記長の庶務會計の報告あり承認の後左の諸件を討議決定せり

一、排日土地法案通過成立後の同胞商工界に及ぼす影響に付研究する事

二、原田助博士の排日對應策質問に對し調査應答する事

三、十二月中旬前後を期し會員の大親睦忘年會を開催する事

四、目下進行中なる日米間の交商業者の立場より華府日本大使館に注意事項を開陳する事

●會頭入閣か　サンパナデノ郡上等裁判所判事にして同市商業會議所會頭たるグッドセル判事はハーディング氏の爲め東部に赴き各方面に應援奮闘せる結果東部人士の重要視する處となりハーディング氏の大勝と共に同氏の名聲も赫々たるものあり殊に今回ハーディング次期大統領より同氏を閣員に任命し度き旨の交渉あり多分承諾するに至るべしとの事なるがグッドセル氏は勿論サンパナデノ郡の名譽なりとて郡民の喜び非常なりと尚は同氏に人格高く天性の雄辯家なりて

●二十餘名の惡童

農業家を待受け暴行

羅府郡反亞協會を始め排日紙エキザミナー紙の益々排日氣配の高調に躍起となり居る事は屢々報道せる處なるが夫れからぬか最近上町長谷川商店の再度シューウインドを破壞されたる事實あるに更らにスローソン街の電車終點の墓地附近に二十餘名を一團となせる惡童毎夜八時より十時頃までの間出没しニューマーク方面より市場に出荷せんとて馬車を倒し出て來る同胞農業家を待ち伏せし日本人のワゴンに飛び乘り日本人を毆打し或は野菜物を打ち捨てる等の暴行を加へ自轉車等にて通行する者あらば投石し危險甚だしき由なるも何分町端れの事とて警官の警戒も行屆かず惡童の輩すがまとなり居れりとの事に付羅府日本人會にても此の旨警察に訴へ出て何等かの警戒をなす筈なりといふ

●合併案大敗す

▲羅府とバーバンク市　當市を距る程遠からぬバーバンク市に於ては羅府市と合併せば清潔なる飲料水の供給を受け下水抜きも完備すべしとの理由の許に合併を主張する住民出づるに至り久しく懸案として研究されつゝありたるが十六日愈々市民の投票に附したるに其の結果は合併賛成僅かに九十二票なる對し合併反對の八百四十七票の非常の差を以て反對側の提利に帰するや反對側にては直に破提大行列を擧行し市内を練り廻はし同市始めての大騒動ありしが分反對側は現在の行政上水道、下水問題は別條なく充分市民に滿足を與へ居れりと意氣揚き非常の運動を試みたるなり

●怪しき米人の徘徊　排外土地法案の通過せる結果日本人農業家の土地所有又はリースの全然出來ざることなりたるを口實に各地に怪しき米人徘徊し自分の名義にすなさば差支へなし充分の便宜を計るべしなど言葉巧みに農家を口車に乘せ居れりとの噂さ專らなるが斯かる米人の身元等に就いても日本人會其他信用さるべき方面に於て更に承知し居らざる樣なれば決して口車に乘せられざる樣各自充分の注意が肝要なるべしと

●續行理事會中止　南加中央日本人會に於ては幹部辭任善後策講究の爲め十七日午後四時より引續き臨時理事會開催の筈なりしが光勢、井上、遠山の三留任停止さるべきものにあらざるを以てレーズンの需用は不相變活況を呈すべし從來一噸十弗乃至十五六弗以上に昇ざりしワイン葡萄が本年百弗より百六十ワイン則其他に就き協議すべしと云ふ尚は右相談會に於て左記の決議を爲したり

『佛教に基き精神修養並びに體育の發達を圖ること』

●同胞二人强盜に遭ふ　本日午後七時過布市チャイナ・アレーに於て同胞二名の白人ホールドアップに襲はれたるが間も無くフランク田中氏方に働き居たる奴なりしと

●不安心な契約書

▲排日土地法の影響　セルマ方面の同胞を始め各地の同胞農家は土地リース契約の更改中なるが排日土地法のバクスしたる結果地主側に不安を抱くものあり日本人に借地せしむるは新法に背き法律上のラブルを惹起せんかを恐れ半信半疑の間に契約を作製するものかの該契約面に若し後日本契約が加州土地法に背脚せるを發見し法律上無効のものたるを認めたる場合は互に契約のゼロなる事を承認し借地人の働きに對し適當の支拂を爲す旨を挿入せる者あり日本人會に持參して善後策の相談を爲す向も少なからざる由新土地法の影響は言へ眞に不安心な契約書と謂ふべし

●金融機關の態度

▲排日法と隅田事件　排日法と隅田土地訴訟事件は中加同胞の金融上に可なりの影響を及ぼし當地方の有力なる同胞農家にして臨時融通資金を要する場合在住地の米人銀行に相談する時は相當の信用を以て援助する由なるものなるが隅田事件は合併賛成僅かに九十二票なる對し合併反對の八百四十七票の非常の差を以て反對側の提利に帰するや反對側にては直に破提大行列を擧行し市内を練り廻はし同市始めての大騒動ありしが分反對側は現在の行政上水道、下水問題は別條なく充分市民に滿足を與へ居れりと意氣揚き非常の運動を試みたるなり

●怪しき米人の徘徊　排外土地法案の通過せる結果日本人農業家の土地所有又はリースの全然出來ざることなりたるを口實に各地に怪しき米人徘徊し自分の名義にすなさば差支へなし充分の便宜を計るべしなど言葉巧みに農家を口車に乘せ居れりとの噂さ專らなるが斯かる米人の身元等に就いても日本人會其他信用さるべき方面に於て更に承知し居らざる樣なれば決して口車に乘せられざる樣各自充分の注意が肝要なるべしと

●續行理事會中止　南加中央日本人會に於ては幹部辭任善後策講究の爲め十七日午後四時より引續き臨時理事會開催の筈なりしが光勢、井上、遠山の三留任停止さるべきものにあらざるを以てレーズンの需用は不相變活況を呈すべし從來一噸十弗乃至十五六弗以上に昇ざりしワイン葡萄が本年百弗より百六十ワイン則其他に就き協議すべしと云ふ尚は右相談會に於て左記の決議を爲したり

『佛教に基き精神修養並びに體育の發達を圖ること』

●同胞二人强盜に遭ふ　本日午後七時過布市チャイナ・アレーに於て同胞二名の白人ホールドアップに襲はれたるが間も無くフランク田中氏方に働き居たる奴なりしと

●ナンガー佛教青年會組織　本日午後一時よりナンガー佛教青年會組織の爲め同地方青年等集合し佛教青年會組織に關し相談つて彼らの頭を支配してゐる處が肝心の金時計がありたる事は確かなれども、これより曩き管理人は吉場が生前書いてゐる日記兼備忘錄の樣なるものを見出し日記英兩文で書いてあつたのを辿り讀むその中には王府中央銀行預金したといふ事が書いてあつたので檢べて見ると千三百六十何弗預けてあるとが解つた其れ以外に何も判らない、友人知己は今日午後三時三十分東王府第十四街二三三二番のミラーグランド葬儀社に於て葬儀を營み遺產整理の上祖國に送る筈なりと

●坂本嬢を送別會　昨年の秋かも王府女子青年會の事業を補佐せん爲め故郷シアトルより遙々來王した坂本峰子嬢は今年中故郷に於て華燭の典をあぐる事に月二日王府出發の由なるが在王同胞婦人は痛く同嬢の歸北を惜み又米人青年會も有用の才媛を失ふを悲みつゝあり來る廿七日米人女子青年會は午後二時より而して三十日には日本婦人倶樂部は同刻より思ひ思ひに送別會を催し同嬢の行を盛んにする由

●婦人倶樂部盛會　一昨日坂本嬢事務所に於て開催されたる日米婦人十五名出席、頒賀牧師日米婦人交驩會には米婦人十五名英兩語にて感話あり尤て の裝飾及御馳走は日本式にて河西夫人の二絃琴を彈じ其他著音機にて

●働かずして疲れる　働かずして疲勞を感じ胴腰リユマチス筋の痛又は關節不自由は其根源を見出すに困難であるが是過勞衰弱腎臓病より起るので有ます Mrs. L. Gibson 12th Madison St. Lajunta, Colo. より左の如き書信あり私は腎臓病で苦しみしがフオレーの藥を服して全治せり

（十一の二）

社告

沿岸四郡を管掌すべき支社を華村に復興する事となり主任として亀野景治氏を招聘致し候間沿岸一帯の同胞諸氏に謹告仕候

華村メーン街一一三
日米新聞 華村支社
主任 亀野景治
電話五三四 郵函エー(A)

●怪しき米人の徘徊　排外土地法案の通過せる結果日本人農業家の土地所有又はリースの全然出來ざることなりたるを口實に各地に怪しき米人徘徊し自分の名義にすなさば差支へなし充分の便宜を計るべしなど言葉巧みに農家を口車に乘せ居れりとの噂さ專らなるが斯かる米人の身元等に就いても日本人會其他信用さるべき方面に於て更に承知し居らざる樣なれば決して口車に乘せられざる樣各自充分の注意が肝要なるべしと

●續行理事會中止　南加中央日本人會に於ては幹部辭任善後策講究の爲め十七日午後四時より引續き臨時理事會開催の筈なりしが光勢、井上、遠山の三留任停止さるべきものにあらざるを以てレーズンの需用は不相變活況を呈すべし從來一噸十弗乃至十五六弗以上に昇ざりしワイン葡萄が本年百弗より百六十ワイン則其他に就き協議すべしと云ふ尚は右相談會に於て左記の決議を爲したり

『佛教に基き精神修養並びに體育の發達を圖ること』

●同胞二人强盜に遭ふ　本日午後七時過布市チャイナ・アレーに於て同胞二名の白人ホールドアップに襲はれたるが間も無くフランク田中氏方に働き居たる奴なりしと

●ナンガー佛教青年會組織　本日午後一時よりナンガー佛教青年會組織の爲め同地方青年等集合し佛教青年會組織に關し相談つて彼らの頭を支配してゐる處が肝心の金時計がありたる事は確かなれども、これより曩き管理人は吉場が生前書いてゐる日記兼備忘錄の樣なるものを見出し日記英兩文で書いてあつたのを辿り讀むその中には王府中央銀行預金したといふ事が書いてあつたので檢べて見ると千三百六十何弗預けてあるとが解つた其れ以外に何も判らない、友人知己は今日午後三時三十分東王府第十四街二三三二番のミラーグランド葬儀社に於て葬儀を營み遺產整理の上祖國に送る筈なりと

●坂本嬢を送別會　昨年の秋かも王府女子青年會の事業を補佐せん爲め故郷シアトルより遙々來王した坂本峰子嬢は今年中故郷に於て華燭の典をあぐる事に月二日王府出發の由なるが在王同胞婦人は痛く同嬢の歸北を惜み又米人青年會も有用の才媛を失ふを悲みつゝあり來る廿七日米人女子青年會は午後二時より而して三十日には日本婦人倶樂部は同刻より思ひ思ひに送別會を催し同嬢の行を盛んにする由

●婦人倶樂部盛會　一昨日坂本嬢事務所に於て開催されたる日米婦人十五名出席、頒賀牧師日米婦人交驩會には米婦人十五名英兩語にて感話あり尤て の裝飾及御馳走は日本式にて河西夫人の二絃琴を彈じ其他著音機にて

●歸國に付御挨拶

私共在米中は不一方御厚情を蒙り又今回歸國に際し御餞別等御贈與被下難有奉謝候に御蔭本日無事乘船仕候間乍憚御安神被成下度乍略儀以紙上御禮申述候

熊本縣鹿本郡稲田村
十一月十九日（アモナ）
富田百藏
同ち
熊本縣菊地郡陳内村
芹川大五郎
妻 かつ
娘 まきゑ

●歸國に付御挨拶

私共在米中は不一方御厚情を蒙り又今回歸國に際し御餞別等御贈與被下難有奉謝候に御蔭本日無事乘船仕候間乍憚御安神被成下度乍略儀以紙上御禮申述候

熊本縣鹿本郡稲田村
十一月十九日（バイセリア）
上野常彦
同ま つ

●歸國に付御挨拶

原籍熊本縣下益城郡東砥用
十一月十九日
上野常彦
同ま つ

●農業組合設置　中加四個所交部は土地通過後の同胞の發展方法として各地に農業及び商業組合の如きものを組織すべく奬勵しつゝあるが昨夜はセルマ日本人ホールに百三四十名の同胞會合し安部の同會にて同胞を爲せしが其結果愈々同地に農業組織を設置するに決定亦本日午後はファーフー日本人ホールにて同胞百名の會合あり百川氏の司會にて大野日幹より事務上の打合せ川島主任はセルマ同樣の金貸が爛々として輝くだらうと想像し或者は貴重な物品又は公債書類の如きものが堆積されてゐだらうと思ひ又は身元の關係上己が死後に對する遺言狀の如きものも始末してあるだらうと考へ其他種々な想像が數分間に亘つて彼らの頭を支配してゐる處が扉が開かれた、中には一箱の金時計がありたるのみで其外貴重品は一切なしと云ふ

●農業組合設置　中加四個所交部は土地通過後の同胞の發展方法として各地に農業及び商業組合の如きものを組織すべく奬勵しつゝあるが昨夜はセルマ日本人ホールに百三四十名の同胞會合し安部の同會にて同胞を爲せしが其結果愈々同地に農業組織を設置するに決定亦本日午後はファーフー日本人ホールにて同胞百名の會合あり百川氏の司會にて大野日幹より事務上の打合せ川島主任はセルマ同樣の金貸が爛々として輝くだらうと想像し或者は貴重な物品又は公債書類の如きものが堆積されてゐだらうと思ひ又は身元の關係上己が死後に對する遺言狀の如きものも始末してあるだらうと考へ其他種々な想像が數分間に亘つて彼らの頭を支配してゐる處が扉が開かれた、中には一箱の金時計がありたるのみで其外貴重品は一切なしと云ふ

●明年の干葡萄

▲不相變優勢の豫想　明年のレーズン相場に就ては當地方面の同胞農家は土地リース契約の更改中なるが排日土地法のバクスしたる結果地主側に不安を抱くものあり日本人に借地せしむるは新法に背き法律上のラブルを惹起せんかを恐れ半信半疑の間に契約を作製するものかの該契約面に若し後日本契約が加州土地法に背脚せるを發見し法律上無効のものたるを認めたる場合は互に契約のゼロなる事を承認し借地人の働きに對し適當の支拂を爲す旨を挿入せる者あり日本人會に持參して善後策の相談を爲す向も少なからざる由新土地法の影響は言へ眞に不安心な契約書と謂ふべし

●金融機關の態度

▲排日法と隅田事件　排日法と隅田土地訴訟事件は中加同胞の金融上に可なりの影響を及ぼし當地方の有力なる同胞農家にして臨時融通資金を要する場合在住地の米人銀行に相談する時は相當の信用を以て援助する由なるものなるが隅田事件の發生と今度の新排日法通過の結果日本人の所有する土地の權利に疑點を起し假へ日本人が幾十萬弗に價する土地を持つて居るとて云ふも萬一法律違反にて沒收されるとの樣の事あらんか貸附上策を講じたがこゝに不思議にも此の老翁がその假寓中なりし駒井寫眞館地下室の自室に小さな金庫を据ゑつけてゐたとてある友人知己らは米國に三十年もの間に亦た男だからこの金庫の中には勘定書類の如きものは一切なしこの

時クラメント（九日）

●降雨と米作

▲一昨日更に十弗の費用を増すの損害、或は沛然たる豪雨となる或は蕭々たる細雨となるも此の數日間降り續きし雨は何日霽るとも定かならずして穀物栽培者の蒙りし損害夥しきことなるが米作地に於ては今回の雨の爲めに未だ刈り入れぬ稻穂は地に寢込みたるより機械を入るゝ能はぬより厩やが應でも人手にて刈入れせざる可らず且つ又既に束ねたる禾束も底潛れとなりたればこれを乾燥して再び束ねる必要に迫られ其諸費用を概算せば一英町に對し平均更に十弗程の餘分の費用を注がねばならぬべしなることを本年度の米作は先づ半作と見積られたるが市場に於ける籠(ママ)の不振風何よりの大打撃にして米作者の約半數は凋落して明年度再起業の寶想困難なるべしと云ふ

●日本小學校々名を

▲櫻學園と變更す

當市の櫻府日本小學校の校名變更の議は昨年度より噂に上りしが今回須市に於て開催せし教育者大會の決議を蒙りたる吉田教師より滿場の賛同を經て櫻學園と變更し直ちに右校名を用ゆることになり由なる教育會決議の内容に就ては何れ近日父兄會を開き多數の意見を徴する筈なりと

●櫻府河水激增して

▲或地點に既に氾濫

三日三夜を降り續けたる雨にシヤスタ地方の雨量は二十吋と云はれサクラメント河水は爲めに雨に怒りて平野北境の河水氾濫して數千英町の農園を浸漬したりとの報あり（コルサ）よりの來電によれば同郡西部の堤防は破れて近隣の農園之れまた水攻めに遭へりとのことなるが當市合衆國測候所長のラーラー氏は客方面より浸水の報あるも別に憂慮すべき狀態に非ずとの意見を發表せり

●正田氏當市通過　元當市にて通譯業を營みたることある大阪電力會社に奉職の正田伊三郎氏は鐵管電柱買入れの社用にて紐育行きの汽車にて昨日午後二時當市を通過したるが歸途再び當市に立寄り舊交を温むべしと

●米蘭電　日本基督教會にては來る十九日と二十三日の兩日午後八時より九時迄聖書の家庭集會を催し「戒禁」に關する及びペンテコステの反響」と題する感話なす由

●產婆免狀下附　產婆開業再試驗に再及第せる當市の宮崎產婆及び六月受驗せる大塚產婆に對し昨日當市醫務局より開業免狀下附されたる由なり

●重役十八名に感謝狀　當市の毎組合にては總會の決議に基き過去三ヶ年組合の重役たりし十八名の人々に對し感謝狀を贈呈したりと

●英語教授開始　エム街の日本人基督教會にては來る月曜より一週中月水金の三日午後七時より九時迄の間に英語教授を再開するとのことなり

●歸國　エルグローヴの農業家愛媛縣人三島鬼一氏は十一月十九日發オイベリヤ丸にて一時歸國、當市紀伊商店支配人和歌山縣人由良楠太郎氏は十二月三日の天洋丸便にて一時歸國する

●須市片信

スタクトン（十九日）

▲新市長アイタ氏が市參事會の慫慂を得て須市在住の外人に人英町に對し平均更に十弗程の餘分の費用を注がねばならぬべしと現に當市の支那人の如き臨時に集會を催ほし之を以て國際條約に違反なりとしアイタ市長に之が撤回を要求すべく手續中なりと傳ふ須市日曜會も之に就き特に在日を交渉し適當の處置に出でんとしつゝありとは素より爾かるべき也

▲近來同胞中より老衰無產公共團體若くは慈惠病院等の御厄介になる者漸く現はれ來たるは注目すべき現象也、若し適當の設備方法を今より講じ置かざる時は遺憾千萬なる事に成るべし

▲日本人の產業に於ける現狀に思ひ當ると鐵詰め油製造の會社が日本人によつて起されたのは大戰中であつたが然るに營業が二年を續かずに沒落し、また沒落しつゝあるのは如何いうのであるか以上の數字に照し合して少なからず感慨を催さしめるではないか

●佛教講話　來る二十日午後七時より櫻府佛會にて青年會例會を開き石田開敎師の講演講話あるべしと

●日會記事　今般個事館の依囑に依り收入年額五千弗以上の者を得ず況んや同胞老衰者にして支那賭博場の殘骸に辛ふじて生を繋ぎ居る輩もありまいふに於てをや

▲米國に在りて日本赤十字に加入するを光榮と感じ居る人々にして米國赤十字に加入するを無益のことの如く考へ彼等は日本人を排斥しつゝ米國赤十字に金を出せ又は心得ずといふ者あり、排日と赤十字とを混同するが如きことにては米化も日米親善も容易に望む可らず同胞の啓發を要する者夥し

●ウ村の追悼會へ出張　クオナグローヴ賭博撲滅期成同盟會にては來二十日午後七時半より同地にて故竹葉氏追悼演說會開催の由にて當市より小村、大橋京野諸氏出張すべしと

●及川主任櫻府行　當支社及及川主任來二日夜櫻府開催の本社講演會に列席の爲め當日同地へ赴く著

●出生　リビングストン和歌山縣人林光三郎氏ミセス西村產院にて十六日長男正男分娩

●黑澤家附　林光三郎氏長男出生祝として金一弗須市日會に寄附▲救世軍村田英士發濱一ヶ年記念として金五弗救世軍に寄附せり

ワツソンビル（十八日）

●沿岸だより

●モントレー灣　に圍するヒヤリング灣が曩日同市コルトン會館で合衆國陸軍工兵團のデキン大佐によつて行はれたハースマン國會議員やリグトン州上院議員

其他の有力者も出席したこの聽聞は中央議會や地方議會やがモントレー灣改善施設の前提をなすものだと解せられてゐるモントレー灣には州から二百萬弗の支出が先年可決されたれども中央議會にも同額の支出要求がある軍事上產業上喫緊のことであらう、聽聞に答へたうちに同市に十個の魚類鑛詰會社がありその建築物と機械設備は二百万弗を計上する而して昨年度に於ては鑛詰會社の作業高は鰯のみで七百十五萬弗、副產物や干魚、鮮魚などを數ふれば、また巨額に上るだらう百五十萬弗を評價せるも五百艘の地方漁船のほか鮭の季節にはサクラメント、サンオーキン兩河の川船が二百艘もやつて來るといふやうな陳述があつたが

▲魚類鑛詰會社　がありその建築物と機械設備は二百万弗を計上する而して昨年度に於ては鑛詰會社の作業高は鰯のみで七百十五萬弗、副產物や干魚、鮮魚などを數ふれば、また巨額に上るだらう百五十萬弗を評價せるも五百艘の地方漁船のほか鮭の季節にはサクラメント、サンオーキン兩河の川船が二百艘もやつて來るといふやうな陳述があつたが

▲日本人の產業　に於ける現狀に思ひ當ると鐵詰め油製造の會社が日本人によつて起されたのは大戰中であつたが然るに營業が二年を續かずに沒落し、また沒落しつゝあるのは如何いうのであるか以上の數字に照し合して少なからず感慨を催さしめるではないか

●日會記事　今般個事館の依囑に依り收入年額五千弗以上の者を至急最寄評議員又は日會事務所に報告すべし▲淺澤貫治氏次男正夫出生▲配達不可能郵便和田彌太之助、淺澤チューイチ、西村爲三右心當りの者に出頭受取られたしと▲住所不明　中野作太郎、谷澤八代松、高木彦市、綿村東吉、福田松藏、岡田良助、原田幸吉右至急日會迄住所を報知せらるべし

東京 大阪 朝日新聞
見本進呈　桑港　知新堂
37 Beckman St., S. F. Calif.
米國販賣店

愈々切迫せる

日米新聞
購讀料
一ヶ月 一弗
六ヶ月 六弗
一ヶ年 十二弗
但一般金に限り六ヶ月五弗五十仙
一ヶ年十弗に割引致候
外に外國送り郵稅一日一仙宛

桑港　日米新聞社

催の金で日毎に樂しめる日米新聞を贈物に用ゐらるゝことは高尚で利益である
如何に能辯の人でも如何に達筆の人でも新聞程能辯に達筆に報道するものはなし
故人曰く『遠く遊ぶ、遊ぶ事必ず方あり』
其方法は常に怠る走父母兄弟知己に自分の狀況を報ずる事である此報道を代表するものは日米新聞である
クリスマス歲暮、年玉 贈答には日米新聞に越すものなし

新米特價
空前の大安賣
櫻府第四街一二二五
谷本商店
電話　三六四三

櫻府　エム街六〇八
オルドドバビリオンホールの前
春木醫院
ドクトル・オブ・メヂシン　春木柳平
櫻府エル街二二四—二二六
電話メーン　二二四六ゼー
顧問、體格檢査無料

錦帶堂ビルデング五ヶ月前より新築中の處愈々落成來る十一月十五日より開所に移轉營業仕候二階はオフィス向十室三室續き既に半分は契約濟殘り六室醫師に貸し希望の方は大至急申込を乞ふ
KINTAIDO DRUG.
237 S. El Dorado St., Stockton, Calif.
須市　錦帶堂ドラグ・ストア

櫻府エル街二二四—二二六
電話メーン　一八二七
びんず
豆腐賣買部　由宇好
平野仁三郎
日米種苗一切
太平洋種苗株式會社

櫻府エム街六〇八
電話メーン
○内科○外科○小兒科
○婦人科○皮膚病
○淋尿○血液檢査ワッサーマン試驗

櫻府エル街二二四—二二六
賭博撲滅
期成同盟會
聯合本部
44 S. El Dorado St., Stockton, Calif.

懸賞金一千弗
去る三日夜須市タフトホテルに於て須市賭博撲滅期成同盟會前幹事竹葉禎吉氏兇漢め銃殺せられたるに付ては右下手人を見出し犯人服罪の効果を齎したる者に對し右懸賞金を提供す但し本廣告日附より向一ヶ月以內の事
大正九年十一月十三日
賭博撲滅期成同盟會　竹葉禎吉

桑港櫻府電氣鐵道
桑港埠頭キールートより櫻府行電車は桑港行毎11時間發車す
San Francisco-Sacramento R. R.
Key Route Ferry. Phone Sutter 9323

木村一二　アイダホ州有人の住所知りたし
日米新聞社

ピー種　アメリカンウオンダー
新種請合　廉價賣出し
堀榮記
P. O. Box 352, Pismo Calif.

櫻府公認產院（いろは順）
櫻府第三街一一一四電話三七八六
岩井きよ
蟹江嶋子
山浦なつ子
小林ひろ子
櫻面都魚店

第四街千二百十四番
櫻府東西商會
呉服雜貨及食料品
電話二六六七W
日本寫眞館

第三街一一〇六
電話三一二三ゼー
櫻府エム街三一〇備州館內
岩本齒科醫院
電話メーン　五四六五W

櫻府エル街二一二
土地賣買
通辯事務所
メリスビル市二街デー街角
電話二五一住宅東洋旅館內
杉本事務所

櫻府エル街二一二
降矢時計店
電話メーン二八五一W

櫻府エム街三一〇
崎山商店
電話メーン三九八

櫻府
櫻府公認產院
柴太郎
電話メーン六四三
櫻府第四街一三一八

第四街一二一六
電話メーン三六八五
岩井きよ
蟹江嶋子
山浦なつ子
小林ひろ子
櫻面都魚店

第三街一二一〇六
電話三一二三ゼー
日本寫眞館

第三街一二一九
電話三五七七ゼー
櫻面都魚店

第四街一二一八中
電話三五五
宮崎アイ

櫻府第四街千二百十番
高橋通辯事務所
電話メーン三九二一ゼー住宅三〇九四

櫻府エム街二七
四百八番
根立院

櫻府エル街二一二〇
電話メーン二九六〇J
日本鳥屋

櫻府第四街一二一〇
電話メーン三一一一W
鍼灸採療治
櫻府第四街一二一〇
電話メーン二九三〇ゼー
麹味噌製造所

櫻府エム街二七
婦人裁縫所
▲婦人服▲小供及びベビー服▲テーラー、スーツ▲アンダーウエア▲刺繍法其他裁縫物の一切を教授可致候
櫻府第四街一二一〇
生命　片岡貫一

櫻府第四街
千三百廿三番半
加州公認　宮崎醫院
アイオワ州立醫科大學出身
ドクトル・オブ・メヂシン
宮崎秀太郎
電話メーン四二六九W

櫻府エム街四〇八
電話メーン二九六〇W
加州公認　沖田醫院
ドクトル・オブ・メヂシン
沖田楠之進
出張所ウオナグローブ
三田邊二階
（日曜午後一時より六時迄）

櫻府エム街四二六（五街の角）
電話メーン一五一〇
岡山旅館

櫻府第四街一二一六
電話三八四五五
大北館

櫻府エム街三〇九
電話三二八八
川村旅館
川村伊太郎

第三街一二一二
電話三〇〇八
備州ホテル
櫻府エム街一二一七
電話メーン三六六〇
日本館

第四街一二一四
電話二三五七W
西村旅館

エム街三一〇
メーン三〇一四
日の本旅館

櫻府日本町八
電話メーン五二四七
廣島旅館

櫻府エム街四〇一
和洋食料品
吉村商店
電話メーン一二三七

櫻府第三街一二一四
電話メーン二九六三ゼー
酒井藥店

櫻府第四街一二一二
切花及寫眞機
丸三商會
電話メーン四三七七W

櫻府エム街三〇九
電話メーン一二一〇ゼー
和洋食料雜貨
廣島商店

櫻府第三街とエムの街角
公認　吉田齒科醫院
電話メーン一三九九ゼー

櫻府エム街三四電話三七八一
サクラ藥店
櫻府第四街
吉田勝太郎
櫻府日本町上
電話メーン三一一五ゼー
下島寫眞館

櫻府エム街四〇一
食料品
電話メーン一二三七
古村商店

櫻府エム街三一〇
井上商會
各種肥料
電話メーン三八八壹ゼー

櫻府エム街二百十二
サツク
古サツクもあり

櫻府エル街四二四（新雜茶員）
○.K.家具金物商店
電話メーン四六七〇（ベンター藤貴）
專門醫紹介及通譯、診察室設備完全

櫻府第四街千二百十七番
公認　ライオン藥店
唐主
木家
電話メーン一〇七八

櫻府エル街四二四
株式會社　日本銀行
電話メーン一〇七八

櫻府第四街
精神療法
電話サンノゼ九一四
不治の病後天的不具其他雜症根治手術服藥要せず
中島施術所

櫻府第三街一二一七
須市ホテル
サンノゼ市北第五街五六五
元日本人病院跡
東マーケット街一二四　電話七三一　水谷猛

須市西ワシントン街三六
室內清潔　玉臺の設備あり
旭印麹並味噌
製造所　電話四四八五
旭商會

櫻府第四街一二一五
公認　佐藤齒科醫院
電話三五八一ゼー
齒科醫學士　佐藤廣吉

櫻府第三街一二一八
食料品　いなか商店
金物類
電話メーン三一一三

櫻府第三街千二百十五
醫學士　石井銀佐
電話メーン六二三三
石井醫院

櫻府エム街四三一
保險　武田正夫

櫻府第四街一二一〇五
電話メーン五〇三〇W
隆辻便利社
住宅電話四六八二W

櫻府エム街三一一
電話メーン五〇三〇W
自轉車
產土御國歸
堅牢で日本への歸國土產にはこの自轉車が第一
ビーヤス
アイバ
ジョンソン
此の三つは路道の惡い日本では大いに安運の便利になります
乘心地よし
エルヨムム商會
2114-4th St., Sacramento

櫻府第四街一二一一
電話メーン八九七七番
加州公認　名出病院
ドクトル・メヂシン
名出三一郎
內外科、小兒科、產婦人科
住宅電話メーン二九六〇W

櫻府第四街一二一一
加州公認
唐津病院
病床實驗理化學的試驗
唐津エンゼル病院

櫻府エム街二百二十八番
電話メーン二〇壹壹
加州公認
唐津エンゼル病院

第四街一二一九
電話二八七三R
朝日時計店

第四街一二一一
電話メーン五一七〇
和洋雜貨、金物類
松野醫科醫院
櫻府日本銀行斜上　住宅第四街一二〇四
電話メーン七七一
紀伊商店

櫻府第三街一二一三
電話メーン五二四七W
竹本ドラグ

第四街一二一五A
電話四三七七ゼー
吉田寫眞館

櫻府第三街一二一五
電話メーン一二六五W
黑河寫眞館

櫻府六街一二一六
電話メーン一二六五W
大和家具商會

櫻府エム街三一四番
電話メーン三六〇五ダブリユー
櫻府角屋
洋田商店

佐藤獣店
櫻府第三街一二一八
電話メーン三六二一
有明商會

櫻府エム街
保險
末本
櫻府エル街二一二〇
有明商會

櫻府第四街一二一五電二六四三
和洋食料
小卸
谷本商店

櫻府第四街一二一二五電二六四三
和洋食料品
加州公認　村上病院
ドクトル・オブ・メヂシン
村上利通
住宅第五街一九七三W
電話一九七三W
▲內科▲外科▲產婦人科▲眼科▲外科▲泌尿科
元帝國大學病院歷任
醫學士
內田賢助

櫻府第四街一二一二
須市
河下
友岡旅館

須市
カリフォルニア州
ストクトン
村岡商會
電話一〇五
須市西ワシントン街一九九
須市支社

櫻府エム街三一〇
電話メーン三六〇五ダブリユー
櫻府第四街一二一八
櫻國園內
電話二五九四
加州公認　內田醫院
▲內科▲小兒科▲泌尿科
▲外科▲眼科
電話ドクトル
醫學士　內田賢助

須市南エルドラド街二二八
糀食料品
高橋商店
スタクトン
電話三二九四
333 S. Center St., Stockton.

須市
須市蓄音機店
6 W. Market St., Stockton, Calif.
シンガー裁縫ミシン販賣

櫻府エル街二二四
電話メーン二二四六ゼー
顧問、體格檢査無料

櫻府エル街二二六
電話メーン
オルドドバビリオンホールの前
春木醫院
ドクトル・オブ・メヂシン
春木柳平

櫻府エム街六〇八
電話メーン
○內科○外科○小兒科
○婦人科○皮膚病
○淋尿○血液檢査ワッサーマン試驗

櫻府エル街二二四—二二六
賭博撲滅
期成同盟會
聯合本部
44 S. El Dorado St., Stockton, Calif.

須市南エルドラド街二二八
電話メーン四〇二八M
河本源吉
東タフエット街二九
Tel. 4408W
江頭豆腐店

須市南ワシントン街二二八
電話　醫院　住宅
五〇八三
四六六三W
加州公認　石川醫院
ドクトル　石川榮助
◎內外科◎產婦人科◎眼科

須市東ワシントン街二二八
J. Hayashi, M. D.
44 S. Eldorado St.
Stockton, Cal.
早石醫院
央加州州公認內外科醫
ドクトル・メヂシン
早石榮藏

須市南エルドラド街四四電九〇四住宅電話二三六二
タフトホテル
御來市の節は是非御投宿を願ます（電話三六四〇）
廣生德三郎

須市南センター街二二七
公認　北原產院
電話一一九一W
須市南ラフエット街二七
貸自動車
清水せんべい製造販賣（電二四七五）

須市南ドラグ街二二八
日本藥品二店
工藤齒科醫學士
公認齒科醫學士
中原久一
（電話五二三二）

須市南ドラグ街二二八
公認齒科醫學士
工藤廣勝
工藤齒科醫院

須市南ドラグ街二二八
公認
久世產婆
電話二九〇三ダブリユー

須市南ドラグ街二二八
肥後屋

須市南ドラグ街二二八
錦帶旅館

須市南ドラグ街二二八
ミカド

須市南ドラグ街二二八
廣島屋

須市南ドラグ街二二八
サツマヤ

須市南ドラグ街二二八
紀州館

須市南ドラグ街二二八
サンオキン

須市南ドラグ街二二八
安藝旅館

須市南ドラグ街二二八
福岡屋

須市南ドラグ街二二八
加州館

須市南ドラグ街二二八
南海屋

須市南ドラグ街二二八
中島ホテル

須市南ドラグ街二二八
ヨセミテ

須市南ドラグ街二二八
尾張屋

須市南ドラグ街二二八
豐明館

須市南ドラグ街二二八
日本旅館

須市南ドラグ街二二八
パナマ

須市南ドラグ街二二八
須市旅館業組合

櫻府第四街一二一五
電話二九四〇W
櫻府エム街三一九
電話二九四〇W
櫻府エム街三一〇
電話メーン二四六三
櫻府第四街一二一六
電話二三六六
櫻府第四街一二一五
電話二三五九
櫻府第四街一二一四
電話二三五九
櫻府第四街一二一三
電話二三五九
櫻府第四街一二一二
電話二三五九
櫻府第四街一二一一
電話二三五九
櫻府第四街一二一〇
電話二三五九
櫻府第四街一二一九
電話二三五九
櫻府第四街一二一八
電話二三五九
櫻府第四街一二一七
電話二三五九
櫻府第四街一二一六
電話二三五九

不鳴千鳥（百二）

長谷川伸

旅丸に代つてあがり口に出たのは湯あがりのお龍の粋な姿でした、それを仰いで槐太はパチパチと眼を瞬きました、何處やも見覺えのある顔のやうでもあると思つたのでせう。

お龍の方でも顔に覺えがあるやうな氣がしましたが、確かにそれとは思ひ浮べられませんでした、それもその筈です、九州の武藏温泉でちらりと廊下で二三度擦れ違つたゞけでした。

『徹どんなこなたに居らるゝと聞いて來ました、逢はして遣はされい、私どもは九州から遙々來ましたばい』

『徹さんに逢ひたいと仰しやるんですね、生憎でしたわね、居ないのですよ、何ならご用の筋を私伺つて置きませうか』

『あんたなら、どぎやん人か知りませつせんが、徹どんでなかゝる話がされませつせんたい』

『私ぢやいけないのですかね』

『徹どんに逢はせて遣はされい』

『居ないんです』

『居らんと？何時來ても居られませんかなた』

『居ないから居ないと云ふのです、徹さんは家の人なんです、徹さんに用なら私にだつて關れるかも知れません、一體用とは何なんですの』

『貴女ん徹どんの何ですかなあた』

『私？』

お龍は矜しげに少しクンとした態度をとりました。

『家内なんです』

槐太はピクリとしました、期せざる事に驚いたやうな彼は、圓な眼を刮ひらいて此龍の美しい顔を髮を、眺めつまるやうにして見てゐるのは明白に敵意を抱いてゐる態度と見られました。

『あゝ、何故默つて他人の顔を見てゐるの、私の顔にイルミネーションでも點いてやしましたさ、大抵におしよ』

『家内？貴女ん家内？』

『ねゝ、岡田徹の女房よ』

槐太の驚奇の眼はまだ瞬いてやみません。

『徹の女房と聞いて何故うんなに吃驚してゐるの此の人は、たしか前さん、九州から來たと云つたでしたね、判つた、私に用ゐないでもない筈だわ、お前さんを頼んでよこしたのは彼の人なんだ』

槐太は聽て頭を俛れました、その怒り肩が今は情然として、淋しげに哀れに見ゆるのも、お龍の眼には快く見ゆたのでせう、口の傍に隱されぬ皮肉を微笑に勝味を含むらしい。

『彼の人は一體どうしてゐるの？』

槐太は俛れた頭をあげません、云つて彼れは動かうともしません。

お龍はケンのある眼を槐太の上に注ぎながら未だ追及します。

『ご無事なの、うして、眞逆一人身ぢやないのでせうねゝ、お父つさんとか云ふ人はどうして？』

何ど思つてか槐太は面をあげました、緊張つた彼の面には血の氣が溢れてゐました、圓な眼の底には涙の名殘りさへ見ゆてゐました。

『貴女ん何といはれますご仁かい』

『たゞや名ですか、岡田徹の妻ん』

『云ひますのよ』

槐太は再び啞のやうになつて只マヂマヂとお龍の顔を見てゐましたが、無言の儘頭を一つさげて玄關を脊中を見せました。

格子戸が開けられて槐太が敷居の外へ踏出すのを、意地惡ゝうに見送つてゐたお龍は、以前よりも強い皮肉を笑が顔一杯に溢れて來ました。

槐太は遂々行つてしまひました、お龍は下駄を踏んで格子を開けて後を覗きました。街燈、軒燈の星のやうな街を槐太は毛深い兩手に顔を覆ふてトボ〳〵と歩いてゐます。彼は無枝の爲めに哭してゐるのでした。

貧けて貰つた遊興税

○○○